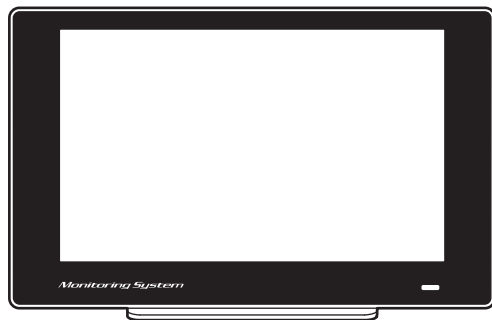


取扱説明書 (お客様保管用)

住宅用太陽光発電システム

カラーモニター
余剰・全量兼用タイプ
(遠隔出力制御システム対応型)
品番 **SPCM274-NX**



このたびは、カラーモニターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～5ページ)を必ずお読みください。
- 送信ユニット (SPW274R-NX、SPW274RT-NX) に対応しています。
- この商品を利用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

This equipment is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other countries.

ご使用の前に



各種設定



余剰対応
表示機能



全量対応
表示機能



必要なときに





特長

1. 7インチカラー液晶、メイン画面機能を搭載し、見やすい表示画面を採用

7インチのTFTカラー液晶を搭載し、発電・消費・売買電力状況を大きな文字で見やすく表示します。また、メイン画面はアニメーション（余剰対応：3パターン／全量対応：1パターン）と写真背景パターンに設定できます。SDメモリーカードを使用することにより、お好みの写真に設定することが可能です。

2. 無線通信方式を採用し、自由な場所で状況を確認

無線通信方式により、自由な場所で発電・消費・売買電力状況を確認できます。設置方法は、「台座方式」・「壁固定方式」の2タイプが選べます。

また、良好な通信状態が得られない場合は、有線通信にすることにより確実に通信を行うことも可能です。

3. 豊富なデータ表示により、多彩な項目でデータをチェック

メイン画面で、現在の発電・消費・売買電力をリアルタイムに表示します。データ項目は、1日（1時間ごと）、1か月間（1日ごと）、1年間（1か月ごと）の、累積積算・発電・消費・売買電力量を数値とグラフにより表示します。また、設置からの総積算電力量を数値表示します。

カレンダー画面は月ごとのデータを表示します。

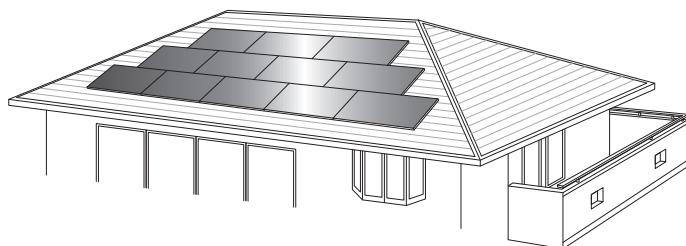
ランキング画面は年ごとのランキング数値を表示します。

環境貢献度画面では1年間の発電量をもとにして、CO₂削減量、石油換算値、樹木換算値を表示します。

（全量対応：表示は発電電力のみです。また、カレンダー、ランキングの表示はありません。）

4. 余剰買取と全量買取に対応

送電ユニット（SPW274R-NX、SPW274RT-NX）に対応しています。設定を変更することにより、余剰買取表示と全量買取表示に対応します。



もくじ

安全上のご注意	4	ご使用の前に
ご使用時の注意点	6	
余剰買取用と全量買取用について	9	
遠隔出力制御について	10	
システムの基本構成	10	
各部の名称	11	
設置のしかた	12	
SD メモリーカードについて	14	
操作の前に	16	

メイン画面表示部	17
設定画面を表示する	18
設定項目一覧表	20
メイン画面を設定する	21
液晶の明るさを設定する	24
サウンドを設定する	25
システム容量と節電目標を設定する（余剰対応のみ）	26
ネットワークの設定	27
日付・時刻を設定する	28
電気料金の単価を設定する	29
キャリブレーションをする	31
個別消費電力量の名称を設定する（余剰対応のみ）	32
発電結果を出力する	33
環境貢献度を設定する	35
ファームウェアのバージョンの確認と更新	37
ファームウェアの自動更新	39
通信接続機器の設定確認	40

余剰対応

表示機能	42	表示機能
（メイン画面表示部	17）	
メイン画面からの画面遷移図	44	
お知らせアイコン	54	
夜間モード	54	

全量対応

表示機能	56	表示機能
メイン画面表示部	56	
メイン画面からの画面遷移図	58	
お知らせアイコン	67	
夜間モード	67	

受信状態の確認	68	必要なときに
こんなときは	69	
お手入れのしかた	73	
仕様	74	
保証とアフターサービス	75	

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
--	-----------------------	---	----------------------------------

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。
--	--------------	---	------------------

*お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

 警告	
 必ず守る	■ 万一、異常が発生したら直ちに AC アダプターをコンセントから抜く 火災・感電の原因になります。 ■ AC アダプターは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。 ■ AC アダプターのホコリなどは定期的に取り プラグにホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。 AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。 長期間使用しないときは、プラグを抜いてください。
	■ 屋外に設置しない 火災・感電・漏電・故障の原因になります。 ■ 高温・多湿・ホコリの多い場所に設置しない 火災・感電・漏電・故障の原因になります。 ■ システムを構成する機器（配線を含む）の分解、改造、取り外しをしない 火災・感電・漏電・けが・故障の原因になります。 ■ ぬれた手で本機に触れたり、AC アダプターの抜き差しはしない また、ぬれた布で拭かない 感電・火災・故障の原因になります。 ■ 有線 LAN コネクタカバーを放置しない 誤飲防止のため、製品ご使用時には、カバーを取り外し、廃棄いただくか、幼児の手の届かないところに保管してください。 ■ SD メモリーカードを放置しない 誤飲防止のため、幼児の手の届かないところに保管してください。 ■ AC アダプター・電源コードを破損するようなことはしない (傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など) 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。AC アダプターや電源コードの修理は、販売店にご相談ください。 ■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。 ■ 病院などの医療機関内や医療用機器のある場所で使用しない 本機からの電波が医療用機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。 ■ 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しない 本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。 ■ 壁面に据え付けるときに固定ネジを壁の中にある金属製部材に接触させない 発煙・発火・火災の原因になります。
	 禁止

⚠ 注意

 必ず守る	■ 付属の AC アダプターを使用する 火災や焼損、故障の原因になります。 ■ AC アダプターをコンセントから抜くときは、AC アダプター部分を持って抜く 火災・感電の原因になります。
 禁 止	■ 落としたりぶつけたりしない けがや故障による火災・感電の原因になります。 ■ 可燃性のエアゾール製品（エアダスターや殺虫剤）を使用しない 引火による爆発、火災のおそれがあります。 ■ 近くで発熱機器および蒸気の出る機器を使用しない 火災・故障の原因になります。 ■ モニター画面を強く押したり、先のとがったもので触れたり、強い衝撃を与えない モニター画面のガラスが割れてけがの原因になります。
 接触禁止	■ モニター画面が割れた場合、モニター画面内部の液体には絶対に触らない 皮膚の炎症などの原因になります。万一、口に入った場合はすぐにうがいをして医師と相談してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低 15 分以上洗浄した後、医師と相談してください。
 ACアダプターを抜く	■ お手入れの際は、安全のために AC アダプターをコンセントから抜く 感電の原因になります。



設置時のご注意

高周波ノイズを発生する機器のあるところに設置しないでください。
正常な動作ができなくなることがあります。

インターネット回線の使用について

- ・ 送信ユニットには、NTP（自動時刻補正）およびファームウェアの自動更新機能が、モニターにはファームウェアの自動更新機能があります。
- ・ これらの機能は、機器がインターネット回線に接続している場合は自動的に有効となります。
- ・ ルーターなしで送信ユニットと接続している場合は、これらの機能を有効にすることはできません。
- ・ 通信量は主にファームウェアのダウンロードによります。モニターおよび送信ユニットは、必要な場合のみ 100MB 以下のダウンロードを行います。
- ・ パケット通信料金を含むインターネット回線との接続にかかる費用は、お客様のご負担となります。

ご使用時の注意点

ご使用前に必ずお読みください。

- (1) 次の場所ではモニターと送信ユニット間の電波状況が悪くなる場合があります。
 - ・ 金属を含む構造の建物（RC、鉄骨、断熱材のアルミシート）
 - ・ 強い磁界、静電気、電波障害が発生する場所（電子レンジ付近）
 - ・ 異なる階の部屋間送信ユニットを隠ぺい（屋根裏など）設置しないでください。
- (2) モニターと送信ユニット、ルーターの無線通信距離は見通し直線 100 m です。
この値は周囲に他無線機器がなく、障害物もない場合の直線距離です。環境により通信可能距離は大きく変化します。
- (3) モニターと送信ユニットの電波状況が悪い場合、数値とグラフのデータが正しく表示できない場合があります。
（電波状況が良くなるとデータは正常に戻りますので、モニターを電波状況の良い場所へ移動してください。）
- (4) モニターと送信ユニットの電波状況が良くない場合、モニターは送信ユニットを検索するため、表示や操作ができないことがあります。
詳細は 68 ページをご確認ください。
（電波状況が良くなると正常に操作できるため、モニターを電波状況の良い場所へ移動してください。）
- (5) データは 1 時間単位に個別に保存しています。
画面に表示する数値は四捨五入して表示しています。
そのため例えば 1 日から 31 日までの値を足し合わせても月の表示された値と一致しない場合があります。
- (6) 日付・時刻の設定を変更すると、保存された電力データが正しく表示されなくなる場合がありますので、最初に送信ユニットを接続したときにモニター上部の日付・時刻を確認してください。
- (7) 電力データと時計データは送信ユニットで保存します。
送信ユニットは、電池で時計データをバックアップしています。電池の容量がぬけた状態で、停電やブレーカ切（OFF）などにより、送信ユニットに電源が入らない状態になると、一度設定した日付・時刻がリセットされることがあります。（画面右上の日付・時刻が横棒になります。）
なお、電池の寿命は通常 10 年です。日付・時刻未設定（日時不明）の状態で積算された電力データは、設置からの総積算にのみ反映されます。そのため、年ごとの積算の合計と設置からの総積算が一致しないことがあります。
- (8) 通信方式（無線通信⇄有線通信）の変更は、送信ユニットの取扱説明書（別冊）をご確認いただくか、お買い上げの販売店に依頼してください。
- (9) メイン画面の消費（売電、買電）の数値がふらつく場合があります。
温水洗浄機能付きトイレ便座、電気ポット、冷蔵庫などの消費電力が大きく変動する製品をお使いの場合はモニターに表示される数値がふらつきます。（余剰の場合のみ。）
- (10) 本機で表示される発電量とパワーコンディショナ本体で表示される発電量は若干異なる場合があります。
- (11) モニター画面に使用している液晶には、画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますが、故障ではありません。
- (12) モニター画面（タッチパネル）を操作する場合は、画面に傷をつけないために、先端が固いものは使わず、必ず指で操作してください。
- (13) その他ご不明な点がございましたら、本書 69 ～ 73 ページ「こんなときは」をご確認ください。
- (14) 本機で使用しているタッチパネルは抵抗膜方式です。多数点の同時タッチには対応していません。
- (15) 壁面への取り付け工事は、お買い上げの販売店に依頼してください。
壁が中空壁（石こうボードなど）の場合は市販のプラスチックアンカーなどを使用してください。

- (16) モニターを壁固定で使用される場合、SD メモリーカード操作の際に壁で手を擦りむくことのないようご注意ください。
- (17) 電波法に基づく認証について
本機には、電波法に基づき小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。
無線設備名：001WWCA1266
従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし以下の事項を行うと、法律により罰せられることがあります。
- 本機に内蔵された無線設備を分解／改造すること。
 - 本機に内蔵された無線設備に印字されている証明印字部分を視認不可能にすること。
- (18) モニターと送信ユニット間の通信は有線 LAN または無線 LAN で行います。通信環境やデータ量、暗号方式により、画面の更新に数秒程度の時間がかかる場合があります。
- (19) お手入れの際は、やわらかい布で拭き取ってください。中性洗剤を使用する場合は、洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってから拭き取ってください。本体に直接洗剤などを使用しないでください。
- (20) 本機、送信ユニット（SPW274R-NX、SPW274RT-NX）は計量法の対象製品ではありません。
発電量、消費量、売電量、買電量、および換算金額などの数値は目安ですので、電力メーターの値や電力会社からの請求書の値と数値が異なる場合があります。
- (21) 通信接続している送信ユニットにより、モニターは余剰対応／全量対応のいずれかのモードで動作します。
各モードで表示する電力量、ボタン、設定値などは異なります。
- (22) 深夜にモニターの再起動によりバックライトが点灯することがありますので、就寝のさまたげにならないよう、設置場所や画面の向きにご確認ください。



ご注意

「ファームウェアを更新中」と表示されている場合、モニターおよび送信ユニットの電源を OFF にしないでください。
OFF にした場合、機器が正常に動作しなくなる可能性があります。



メイン画面に **i** が表示されている場合、**i** をタッチしてください。更新中の場合、上記画面が表示されますので、電源を OFF にしないでください。

無線通信についての注意点

本製品の使用周波数帯は 2.4GHz です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の通信方法を有線通信に切り替える、使用場所を変える、または運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本取扱説明書に記載の弊社窓口までお問い合わせください。

2.4DS/OF4

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
DS/OF	変調方式	DS-SS（直接拡散）方式、および OFDM（直交波周波数分割多重）方式
4	想定干渉距離	40m 以下
— — —	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

■ 無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のようなセキュリティ問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID、パスワード、通信画像や E メールなどの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人のネットワークへアクセスし、

- ・ 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
 - ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - ・ 傍受した通信内容を書き替えて発信する（改ざん）
 - ・ コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
- などの行為をさせてしまう可能性があります。

上記セキュリティ問題が発生する可能性を少なくするためには、お客様が無線 LAN 製品をご使用になる前に、必ず無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を無線 LAN 製品の取扱説明書に従って行ってください。

本件のために生じた損害について当社の瑕疵である場合を除き、当社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。

余剰買取用と全量買取用について

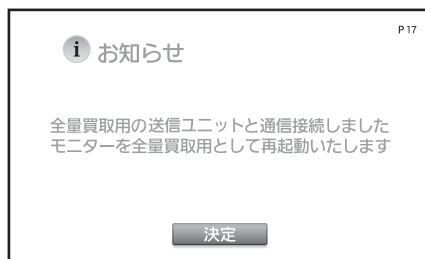
モニターの画面表示は、余剰買取用と全量買取用でそれぞれ異なっております。説明書の中では「余剰対応」「全量対応」という言葉を使用し、区別して記載しています。

【余剰対応と全量対応の切替方法】

モニターと送信ユニットを通信接続すると、モニターは、接続した送信ユニットが余剰対応用か全量対応用かを判別します。

モニターは、表示の切り替えが必要な場合にブザー音を鳴らして右のような画面を表示します。

決定 をタッチすると、モニターは再起動し、余剰対応または全量対応に切り替わります。



(モニターが余剰買取用として動作してるときに、全量買取用の送信ユニットと通信接続した場合の表示例です。)



- ※ 通信接続時の自動判別以外の方法で、余剰対応・全量対応を切り替えることはできません。
- ※ ブザー音は、サウンド設定によらず、音量大で固定です。消音はできません。

ご注意

本書内の画面表示は、操作説明のためのものであり、実際の画面表示とは異なります。本書では、断りのない限り余剰対応の画面を用いて説明しています。

遠隔出力制御について

本製品は、2015年1月22日公布の再生可能エネルギー特別措置法施行令規則の一部を改正する省令と関連告示に対応した機器です。

遠隔出力制御を行うためには、対応した以下の機器が必要です。

- ・パワーコンディショナ（遠隔出力制御対応）
- ・送信ユニット（モニターやパソコンなど）

また、遠隔出力制御を有効にするためには、インターネット回線への接続が必要です。

今後正式発表される遠隔出力制御の仕様によっては、本製品のファームウェア（ソフトウェア）の更新や設置場所での作業（有償）が必要となる場合もあります。

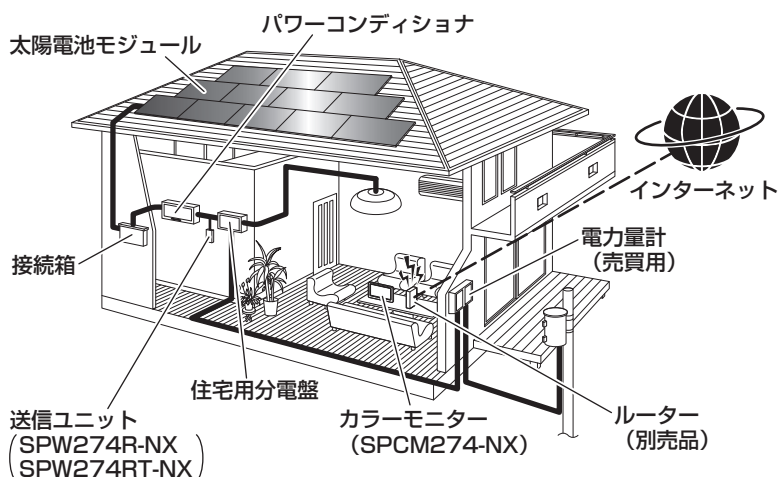
詳細については、遠隔出力制御の仕様が各電力会社から発表された後に、弊社WEBサイトにてお知らせする予定です。

なお、下記の費用はお客様のご負担となります。

- ・インターネット回線契約・利用に伴う費用など

遠隔出力制御は、電力会社の要請により実施されますので、詳細については電力会社にご確認ください。

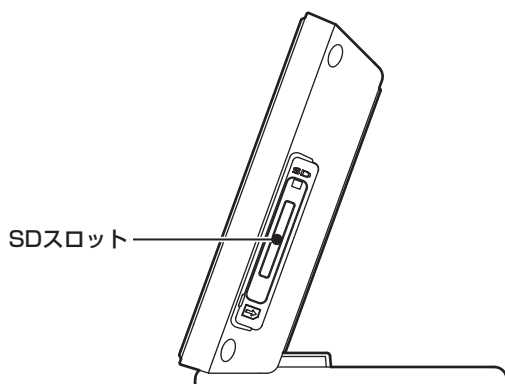
システムの基本構成



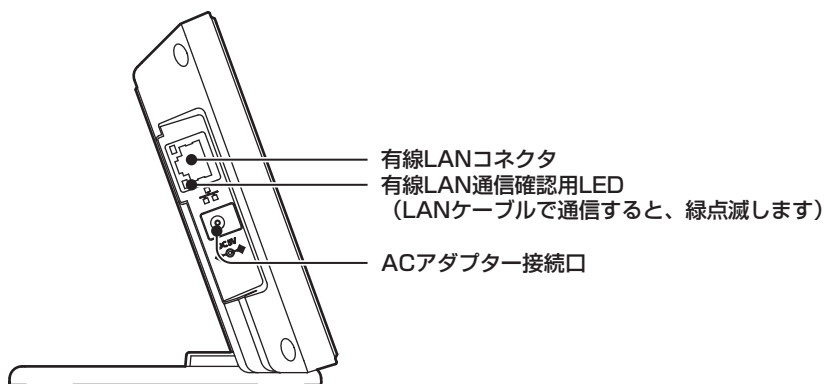
上図は余剰買取時のイメージであり、実際の太陽光発電システムの設置状況とは異なります。
全量買取時は、太陽光の発電電力を宅内で消費しない構成となります。

各部の名前

正面から見て右側面



正面から見て左側面



SD スロット

SD/SDHC メモリーカードを挿入します。
(SD/SDHC メモリーカードは別売りです。)

有線 LAN コネクタ

LAN ケーブルを接続します。
モニターと送信ユニット、またはルーター
(別売) を有線通信するとき 사용합니다。

AC アダプター接続口

モニターに電源を供給します。

⚠ 警告



■ 有線 LAN コネクタカバーを放置しない

誤飲防止のため、製品ご使用時には、カバーを取り外し、廃棄いただくか、幼児の手の届かないところに保管してください。

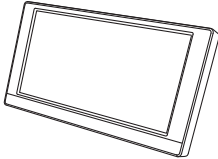
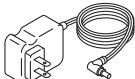
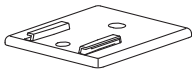
■ SD メモリーカードを放置しない

誤飲防止のため、幼児の手の届かないところに保管してください。

設置のしかた

モニターは台座へ載せるか、壁に固定してご使用ください。

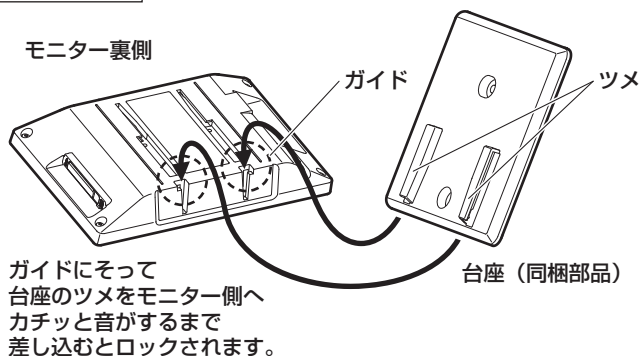
同梱部品の確認

品 名	形 状	個 数	品 名	形 状	個 数
カラーモニター ※1		1	ACアダプター		1
			丸木ネジ 3.1×25		2
			取扱説明書 (本書)		1
台座		1	かんたん 設定ガイド (余剰および 全量買取用) ※2		各1

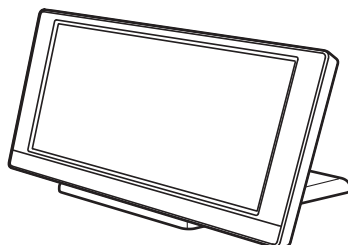
※1 SDメモリーカードは付属していません。

※2 お客様の買取方式にあった説明書をお読みください。

台座への載せかた

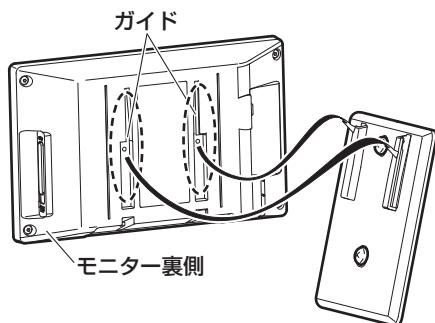
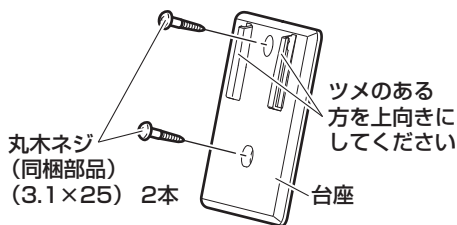


モニターを
台座に載せた状態



壁固定のしかた

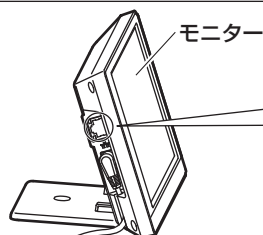
- AC アダプターの接続可能な範囲で固定する場所を決めてください。
- 受信状態をご確認の上、設置してください。(68 ページ参照)
- 見やすい位置を確認してから取り付けてください。
(方向によって見えかたが異なる場合があります。)
- SD メモリーカード、LAN ケーブルのとりまわしができるように左右にスペースを設けてください。



1. 固定する場所を決めて、台座を丸木ネジ (同梱部品) 2 本で確実に固定します。
2. モニターのガイドにそって台座のツメにスライドし、カチッと音がするまで差し込んで固定してください。
3. かるく左右に揺らしモニターが固定されていることを確認してください。

AC アダプターのセット

(下図は台座へ載せた状態を示しています。)



有線LANコネクタ

(有線通信は販売店へお問い合わせください。)

ご注意

LANケーブル以外を接続しますと、故障の原因になります。



設置後、AC アダプターをコンセントに挿入すると、起動ロゴを表示したのち、メイン画面を表示します。通信設定が完了していない場合は、ネットワーク設定の画面を表示します。各種設定は必要に応じて行ってください。(18 ~ 40 ページ)

SDメモリーカードについて

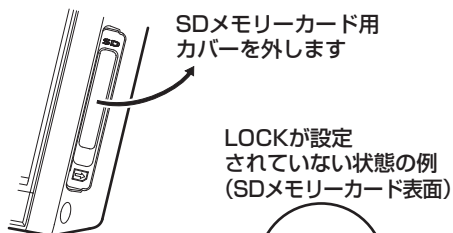
SDメモリーカード（別売）の入れ方

モニターで表示された電力データは、パソコンで表示することができます。パソコンで電力データを表示したい場合は、SDメモリーカードをSDスロットに入れて、電力データをSDメモリーカードに出力してください。出力方法、データ確認方法などは、「発電結果を出力する」の項目を参照してください。（33～34ページ）

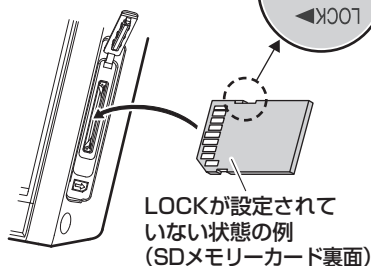
※ SDメモリーカードは付属していません。別途ご購入ください。

その他注意事項は 15 ページをご確認ください。

1. SDメモリーカード用力カバーを外します。



2. SDメモリーカードをカチッと音がするまで押して差し込みます。LOCK が設定されていない状態であることを確認してから差し込んでください。

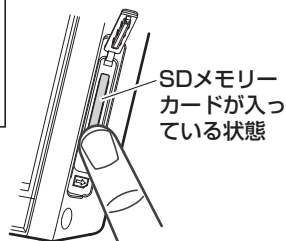


取り出しかた

1. モニターの画面が右図ではないことを確認してください。（データ書き込み中には取り出さないでください。）



2. SDメモリーカードをカチッと音がするまで押してから取り出します。



SD メモリーカードについてのご注意

- 使用できるカードは、128MB～2GBのSDメモリーカード、4～32GBのSDHCメモリーカードです。
- SDメモリーカードのメーカーや種類によっては、データ保存処理時間が長くなる場合がありますが、故障ではありません。2017年1月現在で発売されているパナソニック（株）製SDメモリーカードで動作確認をしておりますが、全てのSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- SDメモリーカードは精密機器です。落としたり、無理な力や衝撃を与えないでください。また高温になる場所や直射日光の当たる場所には、長時間置かないでください。
- SDメモリーカード裏面の端子部には触れないでください。
- SDメモリーカードを取り出した際のカード自体や、モニター本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- データの記録およびその利用に際しましては、ご利用されるお客様の責任で記録データの管理および取り扱い（廃棄を含む）を行ってください。
- 電気ノイズや静電気、モニターやSDメモリーカードの故障などにより、データが破損または消失することがありますので、大切なデータはパソコンなどにも保存しておくことをお勧めいたします。（破損または消失したデータの損害については、当社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。）
- ご使用の環境によっては、SDメモリーカードに保存できるデータ容量が異なりますので注意してください。SDメモリーカードに表示されているメモリー容量より使用可能メモリー容量は少なくなります。
- モニター以外のデータがSDメモリーカードにある場合、SDメモリーカードのメモリー容量が不足し、データを書き込みできなくなる場合があります。不要なデータを消去し、空き容量を確保してください。
- SDメモリーカードには書き込み禁止スイッチ（LOCK）が付いています。機能させておくとSDメモリーカードへの書き込みやデータの消去ができなくなりますので解除してください。
- SDメモリーカードを誤った向きに挿入したり過度の力をかけたりすると、モニターだけでなく、SDメモリーカードも壊れる場合があります。必ずラベル面を裏面にして、正しい向きに挿入してください。
- SDメモリーカードを取り出すときは、14ページに従って取り出し操作をしてください。データ書き込み中に取り出ししたりACアダプターを抜いたりすると、記録されたデータが破壊される場合があります。
- モニターの画面表示では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードを総称してSDまたはSDカードと表示しています。
- SDメモリーカードを初期化する時は、以下のホームページよりSDメモリーカード初期化ソフトウェア（SDフォーマッター）をダウンロードしていただき、初期化してください。パソコンなどの機器にて初期化した場合、正常に動作しないことがあります。初期化ソフトウェアの動作環境や注意事項、使用方法については、以下のホームページをご確認ください。

https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/（2017年1月現在）



操作の前に

送信ユニットとの通信設定が未設定のときはネットワークの設定を行ってください。

- 送信ユニットの取扱説明書に記載されているネットワークの設定の手順に従い接続および設定を行ってください。

電源の入り切りについて

- モニターには電源スイッチはありません。長期間使用されない場合は AC アダプターをコンセントから抜いてください。
- 送信ユニットの電源を切らなければ、日付・時刻データ、電力データに影響はありません。

送信ユニットについて

- 送信ユニットは以下の電力データを蓄積しています。

	パワーコンディショナから 送信された発電データ	分電盤内で検出された 電力データ
余剰買取用	○	○
全量買取用	○	×

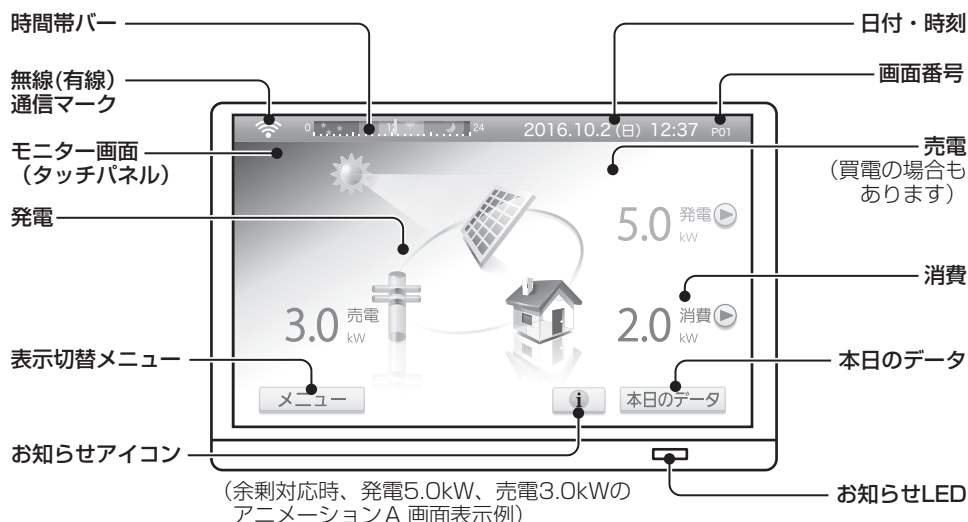
- 通常、送信ユニットは分電盤近くに設置されていますので設置場所をご確認ください。

タッチパネル操作について

- ボタンをタッチしている間はボタンの色が変わって音が鳴り、離すと画面が切り替わります。設定により、音がしないこともあります。「サウンドを設定する」の項目を参照してください。(25 ページ)
- 指や棒状のものでタッチ操作が可能です。硬いものや、先端のとがったものを使用したり、画面を強く押したりしないでください。故障の原因になります。

各種設定

メイン画面表示部



時間帯バー

0 から 24 時までの時間を表示します。
現在の時間を針で表示します。
時間帯別料金設定の場合、料率によって色が変わります。

無線 (有線) 通信マーク

通信状態を表示します。(68 ページ参照)

売電

発電電力が消費電力より大きい場合、売電電力を表示します。

買電

消費電力が発電電力より大きい場合、買電電力を表示します。

表示切替メニュー

メニューボタンにタッチすると、メニュー画面を表示します。

日付・時刻

日付と時刻を表示します。

※メイン画面のアニメーションパターンにより、表示位置などが異なります。
(余剰対応 42 ~ 43 ページ、全量対応 56 ~ 57 ページ参照)

発電

発電電力を表示します。▶をタッチすると個別の発電電力を表示します。

消費

消費電力を表示します。▶をタッチすると個別の消費電力を表示します。

本日のデータ

本日のデータにタッチすると 1 日の積算データを表示します。

お知らせ LED

売電中 (緑色)、買電中 (赤色)、抑制中 (橙色) に色を変えて表示します。夜間モードで画面消灯中は消灯します。

お知らせアイコン

当日 10 分以上の抑制があった場合、およびファームウェアのアップデートなどがあった場合に、お知らせアイコンを表示します。(余剰対応 54 ページ、全量対応 67 ページ参照)

ご使用になる前に各種の設定を行ってください。使用中でも変更可能です。

設定画面を表示する

1. メイン画面の **メニュー** をタッチしてメニュー画面を表示させます。
(右画面は余剰対応で発電 5.0kW、売電 3.0kW の表示例です。)



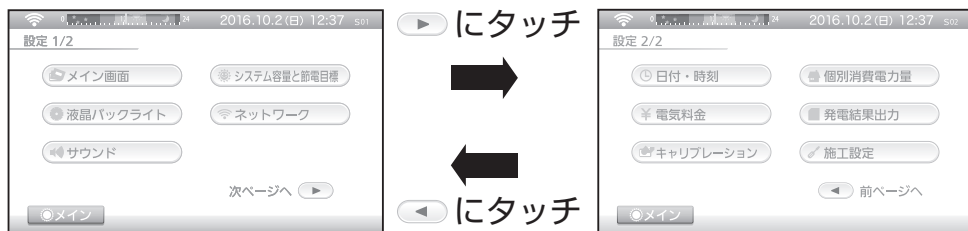
2. メニュー画面の **設定** をタッチして設定 1/2 画面に切り替えます。



〔余剰対応の場合〕

設定 1/2 画面ではメイン画面 / 液晶バックライト / サウンド / システム容量と節電目標 / ネットワークの設定を行います。

設定 2/2 画面では日付・時刻 / 電気料金 / キャリブレーション / 個別消費電力量 / 発電結果出力の設定および施工設定（環境貢献度設定 / ファームウェア / 通信接続機器）を行います。



送信ユニットと通信ができていない場合は次の設定値は変更できず、ボタンがグレーになりタッチできません。

対象：「システム容量と節電目標」、「個別消費電力量」、「電気料金」、「発電結果出力」、
施工設定内の「環境貢献度設定」、「通信接続機器」

〔全量対応の場合〕

設定 1/2 画面ではメイン画面 / 液晶バックライト / サウンド / ネットワークの設定を行います。

設定 2/2 画面では日付・時刻 / 電気料金 / キャリブレーション / 発電結果出力の設定および施工設定（環境貢献度設定 / ファームウェア / 通信接続機器）を行います。



送信ユニットと通信ができていない場合は次の設定値は変更できず、ボタンがグレーになりタッチできません。

対象：「電気料金」、「発電結果出力」、施工設定内の「環境貢献度設定」、「通信接続機器」



設定項目一覧表

パソコンでの表示・操作の場合には、ご使用できない機能（ボタンがグレーまたは非表示）があります。全機能をご使用になる場合には、カラーモニター SPCM274-NX をご利用ください。

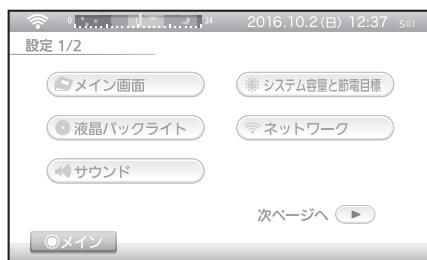
項目名		内容	工場出荷時の初期値	ページ
メイン画面	表示パターン	メイン画面を設定できます。 余剰対応：アニメーション（A～C）、写真背景 全量対応：アニメーション、写真背景	（余剰）アニメ A （全量）アニメ	21
	写真設定	メイン画面を写真背景設定にした場合、SD メモリーカードの写真を設定できます。（※ 1）	未設定	
液晶 バックライト	点灯条件	液晶の点灯条件を「発電中と操作中」「操作中のみ」から選べます。	操作中のみ	24
	操作後の 消灯時間	操作後に消灯するまでの時間を設定できます。 （点灯条件が「操作のみ」の場合に有効）	3 分	
	明るさ	液晶の明るさを 1～5 の 5 段階で設定できます。	3	
サウンド	操作音 音量	ボタンを選択したときの音量（消音、小、大）を設定できます。	小	25
システム容量 と節電目標 （余剰対応のみ）	太陽光発電 システム容量	太陽光発電システムの定格容量を設定できます。 設定値はカレンダー画面での太陽マーク表示や メイン画面のアニメーション強度に使用します。	4kW	26
	節電目標	1 日の消費量の節電目標値を設定できます。設定値 はカレンダー画面での花マーク表示に使用します。	10kWh	
ネットワーク	—	ネットワーク接続の説明です。設定／接続は送 信ユニットの取扱説明書をご確認ください。	未設定	27
日付・時刻	日付・時刻設定	時計の設定方法および現在日時を選択できます。	自動	28
電気料金	売電料金単価	電力会社に売却する電気料金単価を設定できま す。	（余剰） 31.00 円 / kWh （全量） 24.00 円 / kWh	29
	買電プラン （余剰対応のみ）	電力会社から購入する電気料金プランおよび単 価、時間帯を設定できます。	プラン：その 他、不明、 24.00 円 / kWh	
キャリブレーション	—	タッチ操作したときにタッチ位置とボタンにすれ がある場合に、本機能で修正することができます。	出荷時 補正済み	31
個別消費 電力量 （余剰対応のみ）	分岐ブレーカ ごとの名称設定 1～5	住宅用分電盤の中にある分岐（個別）ブレーカ ごとの電力測定を行う場合（オプション）、そ れぞれにあった名称を選択できます。	個別電力 1～5	32
発電結果出力	—	各電力量を SD メモリーカードに書き出します。 データはパソコンで確認できます。（※ 2）	—	33
施工設定	環境貢献度 設定	家庭用電源および太陽光発電の CO ₂ 排出量換 算係数を変更できます。	579g-CO ₂ /kWh 45.5g-CO ₂ /kWh	35
	ファームウェア	モニターおよび送信ユニットのファームウェア のバージョンを表示します。	—	37
	通信接続機器	通信接続したパワーコンディショナの一覧を表 示します	—	40

（※ 1）SD メモリーカードは付属しておりません。

（※ 2）書き出したデータは CSV 形式になります。パソコンの一般的な表計算ソフトでご確認いただけます。

メイン画面を設定する

1. 設定 1/2 画面の  メイン画面 をタッチしてメイン画面の設定画面に切り替えます。



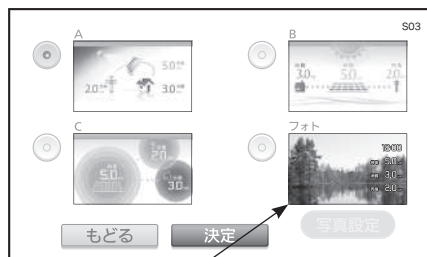
2. 【余剰対応】

アニメーション画面を設定する場合はA、B、Cのいずれかを選択  ボタンで選び  をタッチしてください。

【全量対応】

アニメーションは1種類のみです。選択  ボタンで選び  をタッチしてください。

またはフォトを選ぶと写真や画像をメイン画面の背景に設定できます。設定する場合は手順3.以降の操作へ進んでください。



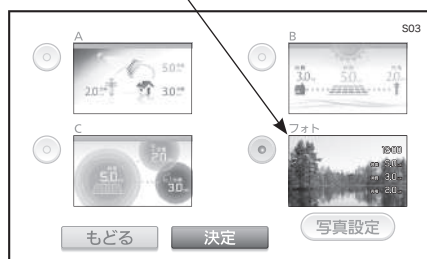
この写真は、モニター本体に保存されています。



3. フォトを選択  ボタンで選ぶと  を選択できるようになります。

タッチして写真の設定画面に切り替えてください。

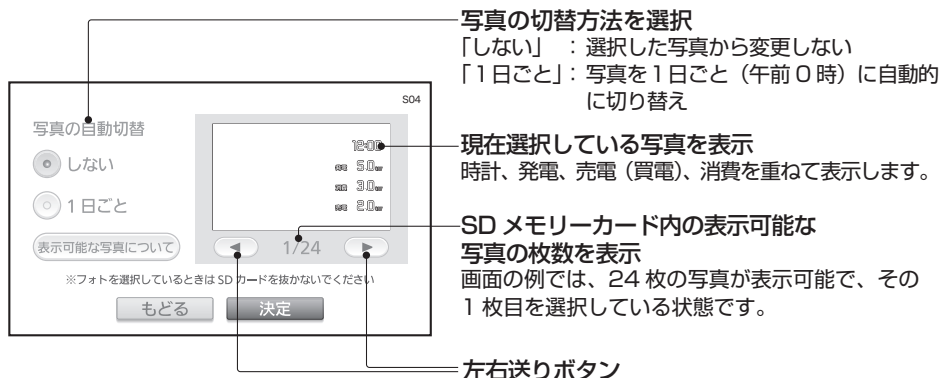
SDメモリーカードの写真を使用する場合は、SDメモリーカードをSDスロットに挿入してください。



メイン画面を設定する（つづき）

4. 写真の選択および写真の切替方法を選びます。

選び終わりましたら **決定**、キャンセルする場合は **もどる** をタッチしてください。



※この画面では、写真データに含まれているサムネイルを表示しています。写真データによっては、メイン画面での表示と異なることがあります。

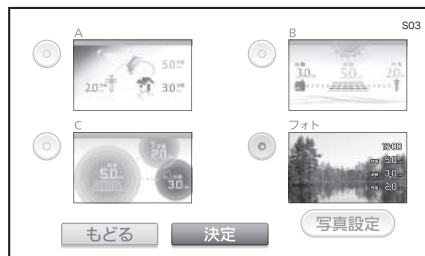
表示可能な写真について をタッチすると、表示可能な写真についての説明を表示します。

ファイル形式	: JPG、PNG
ファイルサイズ	: 2MB (2048KB) 以下
写真（画像）サイズ	: 最大 2000 × 2000 ピクセル
ファイルの保存場所	: SDメモリーカード内の ems 以外のフォルダ

決定 がグレーの場合は…

SDメモリーカードに表示可能な写真が無い場合は、「決定」がグレーになりタッチできなくなります。表示可能な写真を入れたSDメモリーカードをご用意いただきしたら、「もどる」をタッチして手順3.の操作に戻ってください。

5. **決定** にタッチしてください。



メイン画面に「フォト」を選択した場合のメイン画面について

メイン画面に「フォト」を選択した場合、左の表示ようになります。液晶・バックライトの点灯設定で「発電中と操作中」を選び、発電中の場合は、操作終了約 1 分後に右の表示に変わります。

(画面をタッチすると左の表示に戻ります。)



(発電 5.0kW、売電 2.0kW の表示例)

※この写真はモニター本体に保存されています。

SD メモリーカードから読みこんだ写真は 1 枚に限り、モニター本体に保存されます。SD メモリーカードを抜いたり、AC アダプターを抜き挿ししても、写真は表示されます。

ファイルサイズが大きい場合や写真サイズの縦横比が大きい場合は、写真を表示するためにかかる時間が長くなります。

写真の自動位置調整および縦横比率の調整について

モニターは、お客様のご用意された写真を最適なサイズ、位置で表示します。ただし、写真の縦横比によっては写真を画面に表示したときに余白ができてしまう場合があります。その場合は写真を最適なサイズに拡大または縮小したあとに、下記の自動位置調整をしてから表示を行います。

縦長（縦に撮影した）写真の場合

写真を画面に向かって左寄せにし、右余白は黒となります

横長の写真の場合

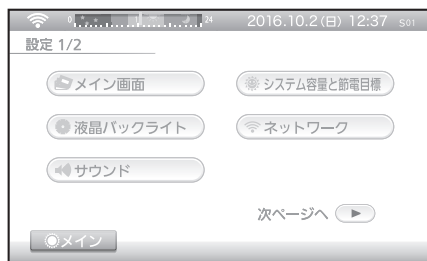
写真を画面の中央に表示し、上下の余白は黒となります

表示可能な写真（画像）のサイズは、最大 2000 × 2000 ピクセル、推奨 800 × 480 ピクセルです。

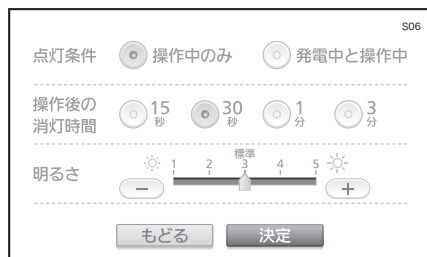


液晶の明るさを設定する

1. 設定 1/2 画面の  **液晶バックライト** をタッチして液晶の明るさ設定画面に切り替えます。



2. 各項目の選択  ボタンや   送りボタンで液晶の明るさの設定を行います。
設定が終わりましたら  をタッチしてください。



点灯条件の設定

- 「操作中のみ」に設定すると、タッチパネル操作後に自動的に消灯します。
- 「発電中と操作中」に設定すると発電中は消灯しません。

操作後の消灯時間の設定

- 15 秒、30 秒、1 分、3 分のいずれかに設定できます。

明るさの設定

- 液晶の明るさを 1（暗）～ 3（初期設定）～ 5（明）の 5 段階に設定できます。
- 明るさは設定により以下のように切り替わります。

①「発電中と操作中」の設定で夜間モード中でないとき

操作中：設定した明るさで点灯
操作なし～ 120 秒：設定した明るさで点灯
120 秒～ 150 秒：設定した明るさの約 50%の明るさで点灯
150 秒～：設定した明るさの約 25%の明るさで点灯

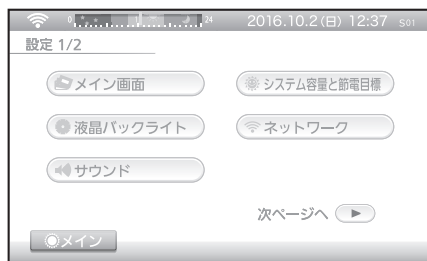
②「操作中のみ」の設定、若しくは夜間モード中のとき

操作中：設定した明るさで点灯
操作なし～「操作後の消灯時間」で設定した値：設定した明るさで点灯
「操作後の消灯時間」で設定した値～：消灯

各設定画面のときは、設定した明るさで点灯を続けます。
20 時以降は、「操作中のみ」の設定で動作します。

サウンドを設定する

1. 設定 1/2 画面の  サウンド
をタッチしてサウンドの設定画面に
切り替えます。



2. 各項目の選択  ボタンで音量の設
定を行います。
設定が終わりましたら  を
タッチしてください。



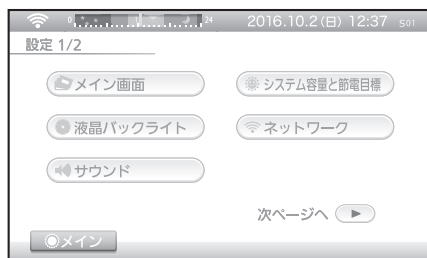
操作音の音量

- タッチ時の音量を設定できます。



送信ユニットと通信ができている状態で設定してください。

1. 設定 1/2 画面の  システム容量と節電目標 をタッチしてシステム容量と節電目標の設定画面に切り替えます。



2. 変更したい数値をタッチしてから、各項目の数値を上下   送りボタンで設定します。
設定が終わりましたら  をタッチしてください。



太陽光発電システム容量の設定

- 太陽光発電システムの定格容量を設定します。
- 1 日の発電量が設定した太陽光発電システム容量の 2 倍以上になるとカレンダーに太陽マーク  が表示されます。

例：4kW 設定の場合、8kWh 以上で  マークが表示されます。

節電目標の設定

- 1 日の節電目標の数値を設定します。
- 1 日の消費量が設定した節電目標以下のときカレンダーに節電達成の花マーク  が表示されます。

送信ユニットと通信ができいない場合は設定できません。

ネットワークの設定

ネットワークの設定は、送信ユニットの取扱説明書のネットワークの設定の手順に従って行ってください。

お願い	送信ユニットとモニターの通信が完了している場合は、ネットワークの設定を変更しないでください。 変更した場合は、送信ユニットとの通信ができなくなり、再度設定のやり直しが必要になる可能性があります。
-----	--

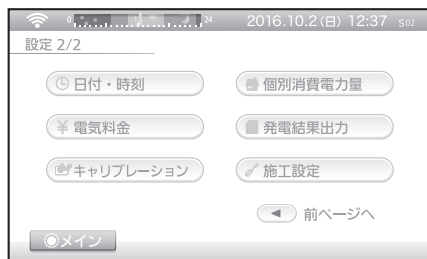
- パソコンでの表示について
一般的なブラウザで送信ユニットの保存している電力データを表示できます。
表示方法や対応ブラウザについては、送信ユニットの取扱説明書のパソコンでの表示についての項目を参照してください。

ご家庭内の同一ルーターにモニター、送信ユニット、ブラウザ表示機器が接続されている必要があります。
インターネット経由での接続は非対応です。



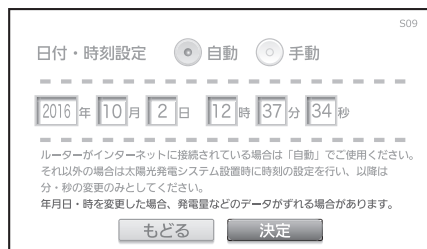
日付・時刻を設定する

1. 設定 2/2 画面の **日付・時刻** をタッチして日付・時刻の設定画面に切り替えます。

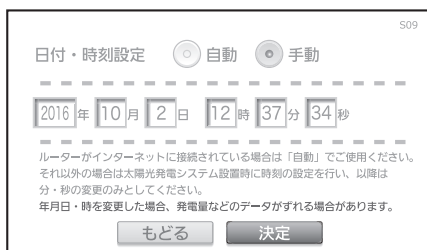


2. 日付・時刻を自動設定にする場合は、**自動** を選び **決定** をタッチしてください。

- 送信ユニットがインターネットに接続されている場合は「自動」に設定してください。



手動で変更を行う場合は、**手動** を選ぶと上下 **▲ ▼** 送りボタンが表示されますので、年・月・日・時・分・秒のそれぞれの数値を上下 **▲ ▼** 送りボタンで設定し **決定** をタッチしてください。



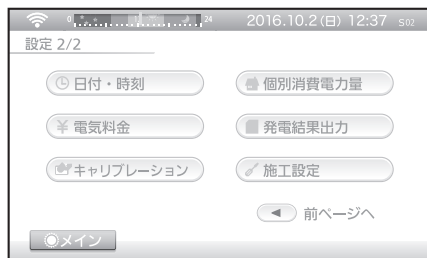
3. 次に、変更確認画面が表示されますので **決定** をタッチしてください。

- 日付・時刻は 2010 年 1 月 1 日 00 : 00 ~ 2035 年 12 月 31 日 23 : 59 の範囲で設定する事ができます。それ以外の日時では、本機および送信ユニットは使用できません。
- 日付・時刻を手動で設定すると、それぞれの発電量などの電力データが正しく表示されなくなることがあります。
- 日付・時刻データは、送信ユニットが管理しているため、「日付・時刻設定」は常に「自動」が選択されています。「手動」にて変更を行っても、送信ユニットがインターネットに接続している場合は、自動的に変更を行います。

電気料金の単価を設定する

ご契約されている電気料金プランおよび単価（1kWhの値段）を設定すると、データ画面、グラフ画面、カレンダー画面などで設定に基づいた料金を表示することができます。送信ユニットと通信ができている状態で設定してください。

1. 設定 2/2 画面の **¥ 電気料金** をタッチして電気料金の設定画面に切り替えます。



2. 売電料金単価を上下 **▲ ▼** 送りボタンで設定します。

上下 **▲ ▼** 送りボタンの長押しで数値を高速で送る事ができます。

- 売電料金単価は、次の範囲で設定できます。

【全量対応】：0.00 ～ 50.00 円

設定後 **決定** をタッチしてこの項目の設定を終わります。



【余剰対応】：0.00 ～ 99.99 円

設定後、**3.** に進んでください。

3. 買電プランを設定します。
電力会社との契約に基づき

☒ 時間帯別料金制 か
☐ その他／不明 を選び **時間帯・料金** を
タッチして時間帯・料金の設定画面
に切り替えます。



時間帯別料金制 時間帯ごとに電気料金単価が異なる契約です。
オール電化の家庭で一般に契約されています。
朝晩、昼、夜の時間帯と単価を設定します。
また、深夜電力プランの場合は、昼と夜の時間帯と単価を設定します。

その他／不明 上記以外のプランで、時間帯に関係なく一律の単価を設定します。

電気料金の単価を設定する（つづき）

4. 時間帯別料金制を選んだ場合は電力会社との契約に基づき①～④のセットそれぞれの時刻と料金の数値をタッチしてから、上下 ▲ ▼ 送りボタンで設定してください。
設定が終わったら **決定** をタッチしてください。

- 時刻は 0 ～ 23 時の範囲で設定する事ができます。
- 料金単価は 0.00 ～ 99.99 円の範囲で設定する事ができます。
- 同時刻の設定があった場合、番号の小さい方の設定が有効となり番号の大きい方の設定は時間帯表示バーには表示されません。
- 実際の金額との差異を少なくするために、ご契約の電力会社の料金プランにできるだけ近い設定を行ってください。

5. その他 / 不明を選んだ場合は、買電料金単価を上下 ▲ ▼ 送りボタンで設定してください。
設定が終わったら **決定** をタッチしてください。

- 料金単価は 0.00 ～ 99.99 円の範囲で設定する事ができます。

6. 電気料金の単価設定は、ご契約されている電力会社が発行する電気料金表をご確認の上、設定してください。
設定が終わったら **決定** をタッチしてください。

設定を変更すると、変更した時間を含む、それ以降の金額計算方法が変わります。
(例：2 時 50 分に変更すると、2 時台の分から金額計算方法が変わります。)
換算金額は目安です。正確な金額は電力会社の領収書などでご確認ください。

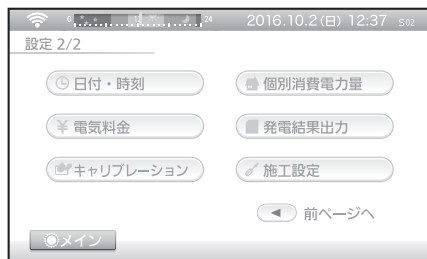
送信ユニットと通信ができていない場合は設定できません。

キャリブレーションをする

タッチパネルは長年使用するとタッチ位置がずれることがあります。
キャリブレーションとは、そのずれを修正するための機能です。

1. 設定 2/2 画面の

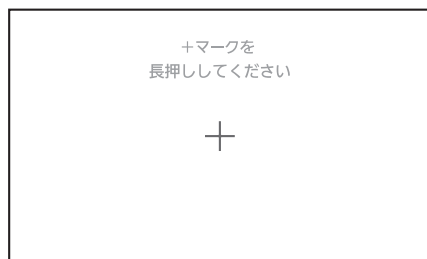
 **キャリブレーション** をタッチしてキャリブレーションの設定画面に切り替えます。



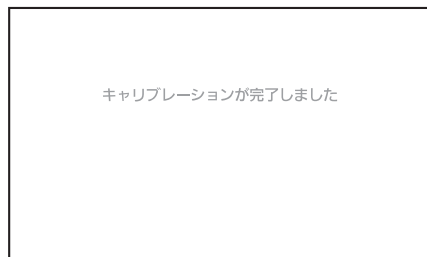
2. 画面上の + マークの中央を長押ししてください。

タッチするときはやわらかい棒状のものでタッチすると、正確にキャリブレーションができます。

- 指や棒状のものでタッチ操作が可能です。硬いものや、先端のとなったものを使用したり、両面を強く押したりしないでください。
- + マークは、長押しすると移動して別の場所に表示されます。(5箇所)
- 正確に押されていない場合、もう一度 + マークが表示されますので、再度タッチしてください。



3. 全ての + マークがタッチされると完了画面が表示されます。どこでもよいので画面をタッチしてください。



お願い

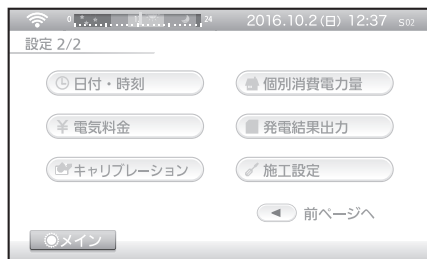
- 正確に + マークの中央をタッチしてください。タッチ位置がずれると正確に修正できません。また、ずれが大きい場合は手順 2 からやり直しとなることがあります。
- タッチせずに約 5 分が経過すると、モニターは再起動します。

個別消費電力量の名称を設定する

余剰対応のみ

分岐（個別）ブレーカーごとの個別消費電力を測定している場合（オプション）に設定を行ってください。送信ユニットと通信ができていない状態で設定してください。

1. 設定 2/2 画面の **個別消費電力量** をタッチします。



2. 分岐（個別）ブレーカー 1～5のうち、設定したいボタンにタッチして名称設定画面に切り替えます。

- 名称設定できない場合は、ボタンがグレーになりタッチできない状態になります。



3. 分岐（個別）ブレーカーの名称を画面中央～下部に表示されている名称候補の中から選んでください。

選び終わりましたら、**決定** をタッチしてください。

- 名称は 5 文字（機器名、部屋名、その他）と 2 文字（1F、東など）の組み合わせで選べます。
- 適切な名称が無い場合は「その他で選ぶ」の「一般」「1～5」を選択してください。



4. 分岐（個別）ブレーカーの名称の設定が終わりましたら **決定** をタッチしてください。

分岐（個別）ブレーカーの名称がわからない場合や測定箇所を追加したい場合などは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

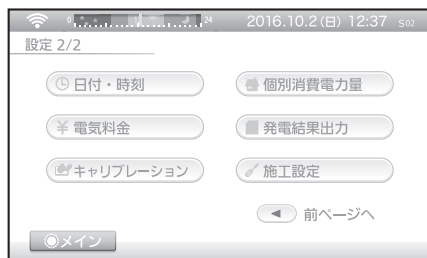
送信ユニットと通信ができていない場合は設定できません。

発電結果を出力する

電力データを SD メモリーカードに書き出します。

1. 設定 2/2 画面の

発電結果出力 をタッチして発電結果の出力画面に切り替えます。



2. モニターに SD メモリーカードが挿入されている事を確認し

SD カード確認 をタッチします。



- 「SD カードを挿入してください」と表示される場合
ご利用の SD メモリーカードを認識できない可能性があります。15 ページをご参考に初期化を実行いただくか、他の SD メモリーカードをご利用ください。
- 「空き容量が足りません」と表示される場合
ご利用の SD メモリーカードの空き容量が足りません。モニター画面の必要容量をご確認いただき、空き容量のある SD メモリーカードをご利用ください。
- そのほか、SD メモリーカードのお取り扱いについては 15 ページの注意をご確認ください。



送信ユニットと通信ができていない場合は出力できません。
直近の最大 60 分のデータは出力されません。

3. **書き出し実行** をタッチして SD メモリーカードに電力データを書き出してください。

SD メモリーカードにファイルができます。(詳細は次ページを参照)

- 同名のファイルがある場合、上書きされますのでご注意ください。



発電結果を出力する（つづき）

4. 書き出しが終わると完了画面が表示されますので **もどる** をタッチしてください。



書き出されるファイルについて

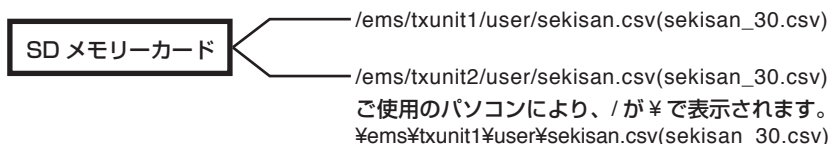
SD メモリーカードに書き出されたファイルは、パソコンの表計算ソフトで開いてください。

データは CSV 形式で保存されており、1 時間または 30 分（ファイルによる）で 1 行の電力データ（積算値）が記載されています。各列のデータの意味については、書き出されたファイルの内容をご確認ください。

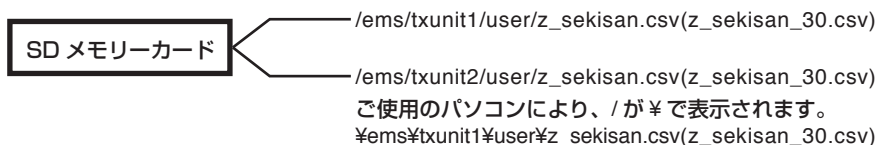
電力データは、1 時間または 30 分（ファイルによる）ごとの値を四捨五入して書き出しています。そのため、表計算ソフト上で足し合わせた値と、モニターの表示値は一致しないことがあります。正確な日ごと、月ごと、年ごと、今までの値は、モニターの表示値でご確認ください。

ファイルは送信ユニットの設定によって保存される場所が変わり、下記のいずれになります。（txunit フォルダの数字は送信ユニットの設定により 1 か 2 になります。）

〔余剰対応〕



〔全量対応〕

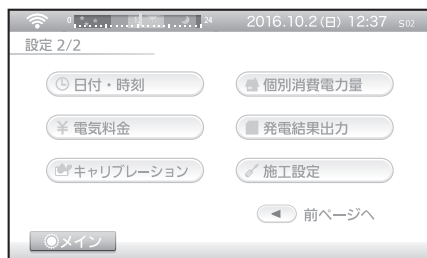


環境貢献度を設定する

環境貢献度画面で表示する発電電力量の換算係数を設定することができます。
送信ユニットと通信ができている状態で設定してください。

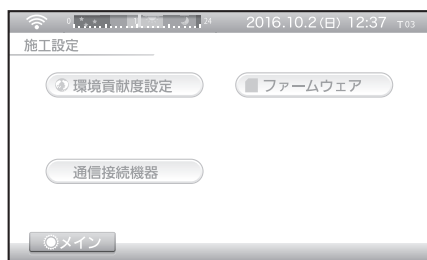
1. 設定 2/2 画面の

 をタッチして施工
設定画面に切り替えます。



2. 施工設定画面の

 をタッチして環境
貢献度設定画面に切り替えます。



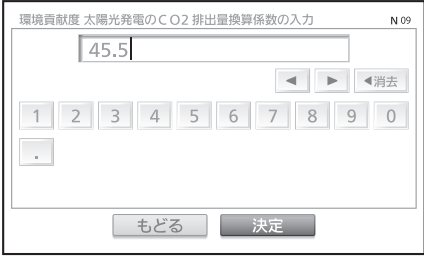
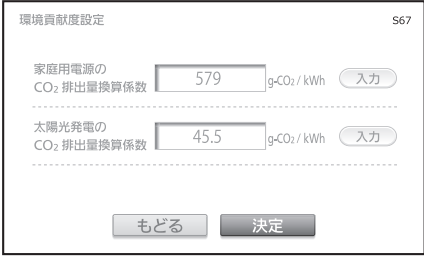
環境貢献度を設定する（つづき）

3. 値を変更します。変更したい項目の **入力** をタッチしてください。

キーボード入力画面となります。項目により以下のように入力可能な文字が異なります。

- ・ 家庭用電源の CO₂ 排出量換算係数
入力キー：0～9 の数字
入力範囲：0～999
- ・ 太陽光発電の CO₂ 排出量換算係数
入力キー：0～9 の数字、小数点
入力範囲：0.0～999.9
- ・ 家庭用電源の CO₂ 排出量換算係数の値が、太陽光発電の CO₂ 排出量換算係数の値よりも大きくなるように設定してください。小さい場合、決定ボタンがグレーになります。

※ 各値の説明は余剰対応 51 ページ、全量対応 64 ページを参照してください。
(設定時の CO₂ 排出量換算係数の単位は、g-CO₂/kWh です。)



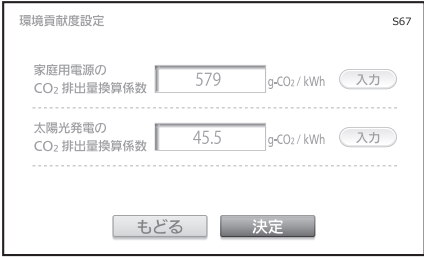
(太陽光発電の CO₂ 排出量換算係数を入力するキーボード画面の例です。)

4. **決定** をタッチしてキーボード入力画面を閉じます。

「入力内容を確認してください」と表示された場合は、画面に表示される内容をご確認いただき、手順 3 からの操作を行ってください。

5. **決定** をタッチしてください。

成功または失敗画面を表示した後、施工設定画面に戻ります。
失敗した場合、手順 1 から再度実施してください。
それでも失敗する場合、設定画面のネットワーク画面で、送信ユニットとの通信を確認してください。



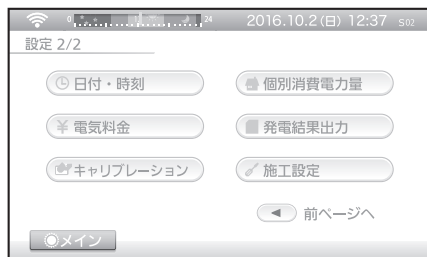
送信ユニットと通信ができていない場合は設定できません。

ファームウェアのバージョンの確認と更新

モニターおよび送信ユニットのファームウェアのバージョンを確認できます。

1. 設定 2/2 画面の

施工設定 をタッチして施工設定画面に切り替えます。



2. 施工設定画面の

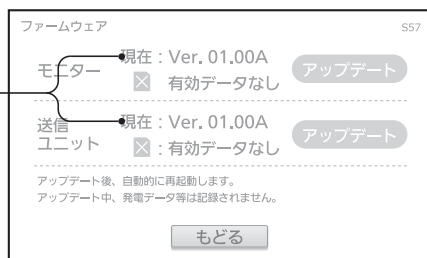
SD ファームウェア をタッチしてファームウェア画面に切り替えます。



3. 各機器内のファームウェアのバージョンを表示します。

現在のバージョン

送信ユニットと通信ができていない場合は、送信ユニットの現在のバージョンは表示されません。



(バージョンが 01.00A の場合の表示例です。)

4. SD メモリーカードを利用したファームウェア更新を行う場合は、下記の手順に従ってください。

- (1) ファームウェアを入れた SD メモリーカードをモニターの SD スロットに入れてください。「有効データなし」の表示が SD メモリーカード内のバージョン表示に変わりますので、最新のバージョンであることを確認してください。
- (2) **アップデート** をタッチし、ファームウェアを更新してください。モニターはファームウェア更新後、自動的に再起動し、メイン画面を表示します。上述のファームウェア画面に移動し、バージョンを確認ください。
- (3) 更新に失敗した場合は、「失敗しました。」と表示されますので、SD カード内のデータを確認のうえ、再度更新を行ってください。
- (4) 送信ユニットはファームウェア更新に成功すると、「ファームウェアを更新しました。」と画面に表示されますので、**もどる** をタッチし、バージョン表示を確認ください。

※更新を行う場合の注意事項は、38 ページに記載されています。必ずご確認ください。

ファームウェアのバージョンの確認と更新（つづき）

SD メモリーカードでファームウェアを更新する場合の注意

SD メモリーカードを使ってファームウェアの更新を行う場合は、以下の点にご注意ください。また、更新の手順については 37 ページをご確認ください。

ご注意

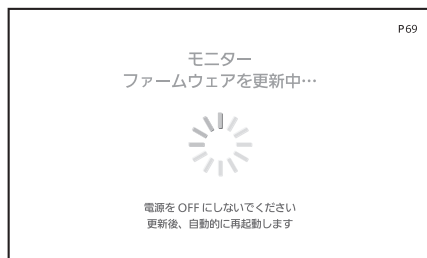
- SD メモリーカードによるファームウェア更新ができるのは、ファームウェア更新データが保存されている SD メモリーカードが挿入されている場合のみです。
- インターネット回線に接続している場合は、最新のファームウェアに自動で更新されます。
- ダウンロードしたファームウェア更新データは、SD メモリーカードの一番上の階層に保存してください。フォルダを作って保存したり、ファイル名称や属性の変更などは行わないでください。
- データを破損するおそれがありますので、ファームウェア更新操作中は電源を切ったり SD メモリーカードを抜いたりしないでください。
- ファームウェア更新完了後は、必ず SD メモリーカードに保存したファームウェア更新データを削除してください。
- 2017 年 1 月現在、アップデート情報はありません。

ファームウェアの自動更新

モニターおよび送信ユニットは、インターネット回線に接続している場合、ファームウェアの自動更新を行います。ファームウェアの自動更新は夜間、不定期に実施します。モニターおよび送信ユニットは、ファームウェアの更新が必要かどうかを確認した後、必要な場合のみ 100MB 以下のダウンロードを行います。パケット通信料金を含むインターネット回線との接続にかかる費用は、お客様のご負担となります。

・ モニターのファームウェア更新中の場合

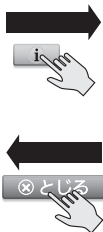
ファームウェアの更新中は、モニターの画面操作はできません。
更新完了後、自動的に再起動します。
この画面のときに、電源をオフにしないでください。



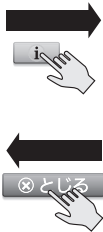
・ 送信ユニットのファームウェア更新中の場合

ファームウェアの更新中は、約 1 分～3 分程度、電力計測を行いません。また、モニターとの通信を行いません。モニターにはお知らせアイコンが表示されます。更新完了後、自動的に再起動します。

【余剰対応】



【全量対応】



ご注意

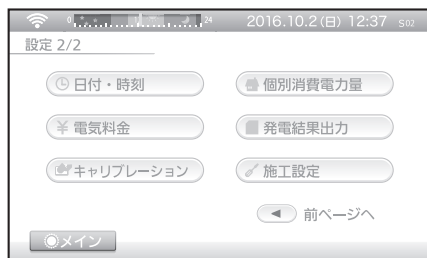
メイン画面のお知らせアイコンをタッチし、送信ユニットのファームウェアを更新中と表示されている間は、送信ユニットの電源を OFF しないでください。
OFF にした場合、ファームウェアの更新に失敗し、機器が正常に動作しなくなることがあります。

通信接続機器の設定確認

RS485 通信で接続している機器（パワーコンディショナ）の一覧を表示します。

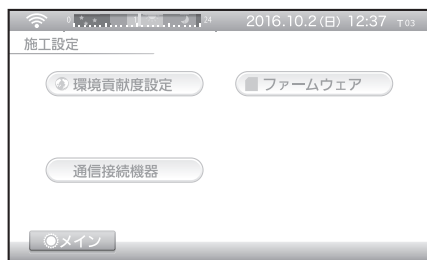
1. 設定 2/2 画面の

施工設定 をタッチして施工設定画面に切り替えます。



2. 施工設定画面の

通信接続機器 をタッチして通信接続機器画面に切り替えます。



3. RS485 通信で接続している機器の一覧を表示します。

情報取得 をタッチすると、最新の情報に画面を更新します。

初期化 をタッチすると、接続情報を初期化します。

初期化を行っても、接続機器を自動で検出しますので、**情報取得** をタッチすることで最新の接続機器を確認できます。



(2 台接続した場合の例です)

通信状態には、以下の 3 種類が表示されます。

- ・通信中：正常に通信が行われている場合
- ・通信途絶：60 秒間連続で通信が途絶えた場合（夜間など）
- ・通信異常：24 時間連続で通信が途絶えた場合

メモ



表示機能（余剰対応）

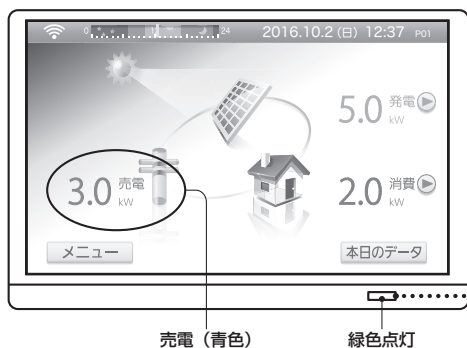
メイン画面の表示例

メイン画面は発電と消費によって次のような表示になります。

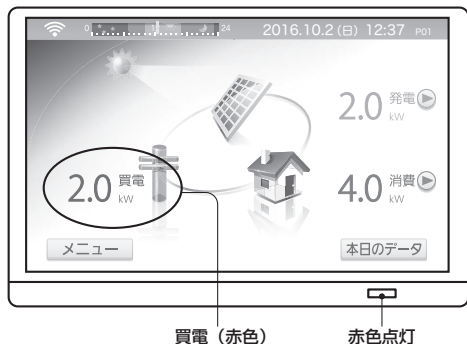
- メイン画面の設定は 21 ページを参照してください。

アニメーション A の場合

売電の場合 (5.0kW 発電し、
電力会社へ 3.0kW 売っている状態)



買電の場合 (2.0kW 発電し、
電力会社から 2.0kW 買っている状態)



お知らせ LED について

- ・ 緑色点灯・・・ 売電中
- ・ 赤色点灯・・・ 買電中
- ・ 橙色点灯・・・ 起動中または抑制機能が動作中

抑制機能についてはパワーコンディショナ本体の取扱説明書を参照してください。

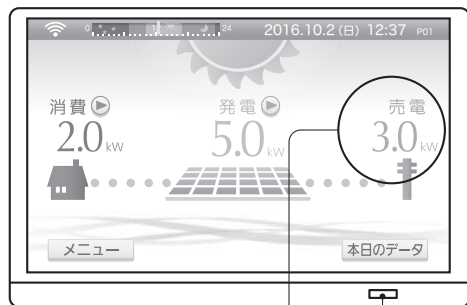
※ 夜間モードで画面消灯中は、お知らせ LED も消灯

※ 設定画面では消灯

本日のデータ ボタンをタッチすると 1 日の積算データを表示します。(44 ページを参照してください。)

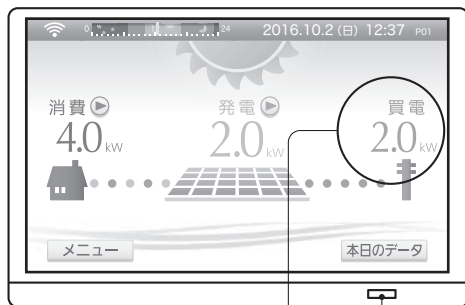
アニメーション B の場合

売電の場合 (5.0kW 発電し、
電力会社へ 3.0kW 売っている状態)



売電 (青色) 緑色点灯

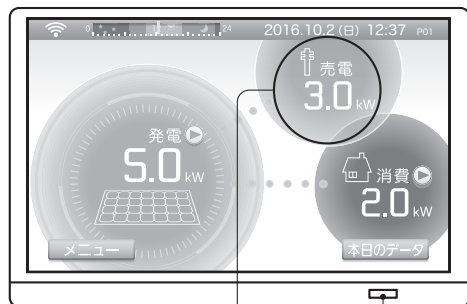
買電の場合 (2.0kW 発電し、
電力会社から 2.0kW 買っている状態)



買電 (赤色) 赤色点灯

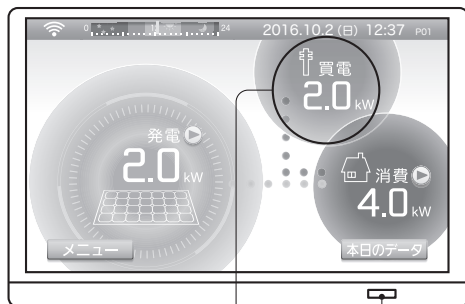
アニメーション C の場合

売電の場合 (5.0kW 発電し、
電力会社へ 3.0kW 売っている状態)



売電 (青色) 緑色点灯

買電の場合 (2.0kW 発電し、
電力会社から 2.0kW 買っている状態)



買電 (赤色) 赤色点灯

余剰対応



フォトの場合

アニメーションのかわりに写真を設定する事もできます。
(21 ~ 23 ページを参照してください。)

メイン画面からの画面遷移図

電源 ON

電源 ON：AC アダプターをコンセントに挿入してください。
電源が入ると起動ロゴを表示したのち、メイン画面を表示します。

メイン画面

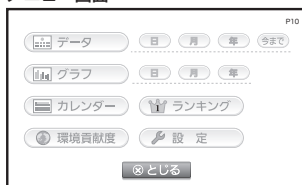
(アニメーション A で、発電 5.0kW、
売電 3.0kW の画面表示例)



※通信設定が完了していない場合は
ネットワーク設定の画面を表示します。



メニュー画面



メイン画面のボタンについて

メイン画面



発電 (個別) ポップアップ
(52 ページ参照)

消費 (個別) ポップアップ
(52 ページ参照)

本日のデータ

「本日のデータ」
ボタンタッチですぐに
今日の積算データを
表示します。

直接移動も可能

直接移動も可能

データ画面 1日



グラフ画面 1日



カレンダー画面



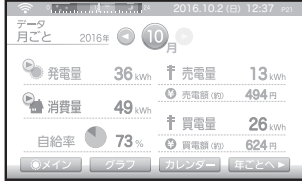
(51 ページ参照)

- 環境貢献度
- 発電量をもとにした 1 年間の
環境貢献度を表示します。(51 ページ参照)
- 各種設定 (17 ページ参照)

データ画面 今まで



データ画面 1ヶ月



データ画面 1年



グラフ画面 1ヶ月



グラフ画面 1年



グラフ 1日

日付セル → 選択した日のデータを表示します。

データ → 表示している月のデータを表示します。

グラフ → 表示している月のグラフを表示します。

余剰対応



ご注意

- 画面右上の P01 P02 … N01 …は、画面番号を示しています。お問い合わせなどの場合、例えば P03 の画面というようにお知らせください。

どの画面からでも  メイン にタッチするとメイン画面に戻ります。

メニューからの画面表示

メイン画面から **メニュー** にタッチすると、メニュー画面を表示します。

メイン画面

(アニメーション A の画面表示例)



メニュー画面



データ にタッチすると

今まで・年・月・日ごとのデータ画面を表示します。(47 ページを参照してください。)

日 **月** **年** **今まで** をタッチすると直接その画面に移動します。

グラフ にタッチすると

年・月・日ごとのグラフ画面を表示します。(48～49 ページを参照してください。)

日 **月** **年** をタッチすると直接その画面に移動します。

カレンダー にタッチすると

月ごとのカレンダー画面を表示します。(50 ページを参照してください。)

環境貢献度 にタッチすると

1 年間の発電量をもとにして、CO₂ 削減量とその石油換算値、樹木換算値を表示します。(51 ページを参照してください。)

ランキング にタッチすると

年間の瞬時値、電力量のランキングを表示します。(51 ページを参照してください。)

設定 にタッチすると

設定の画面を表示します。(18 ページを参照してください。)

⊗ とじる にタッチすると

メイン画面に戻ります。

データ画面

各値を数値データで表示します。

画面説明

(この画面は 2016 年 10 月 2 日の 00:00 ~ 12:37 までの積算データ例です。)



年月日の選択 (53 ページ)

表示期間の切り替え
(日ごと、月ごと、年ごと、今まで)

グラフ画面またはカレンダー画面を表示



▶をタッチすると、個別の発電量、消費量を表示できます。
詳細は 52 ページを参照してください。

表示内容

画面名	発電量	売電量		買電量		消費量	自給率
		売電量	売電額	買電量	買電額		
日ごと	○	○	○	○	○	○	○
月ごと	○	○	○	○	○	○	○
年ごと	○	○	×	○	×	○	○
今まで	○	○	×	○	×	○	○

×：表示がない ○：表示がある

※自給率は、発電量 ÷ 消費量 × 100 [%] で表示しています。(上限 100 [%])

表示期間

日ごと 24 時間分 (当日の 0 時 ~ 23 時 59 分)

月ごと 1 か月分 (当月の 1 日 ~ 31 日分)

年ごと 12 か月分 (当年の 1 月 ~ 12 月分)

今まで モニター (送信ユニット) を設置してから現在までの値

余剰対応

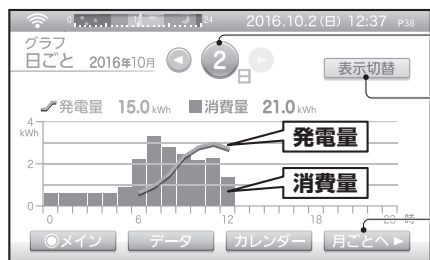


グラフ画面

各値をグラフで表示します。一部の値については比較表示もできます。

画面説明

※ 10月2日の発電量を折れ線で、消費量を棒グラフで表示しています。発電量が0kWhの期間は折れ線は表示されません。



年月日の選択 (53 ページ)

表示項目の切り替え (49 ページ)

表示期間の切り替え
(日ごと、月ごと、年ごと)

データ画面またはカレンダー画面を表示



年ごとの表示では、前年実績と比較表示可能

■ 前年と比較 にタッチすると前年実績を薄い色で重ねて表示 (画面番号は P37)

■ 本年のみ にタッチすると本年のデータのみを表示 (画面番号は P34)

データ画面を表示 (カレンダー画面には年ごとの画面が無いいため表示できません)

※ 2016 年と 2015 年の消費量を表示しています。前年の消費量は薄い色で表示されます。

表示内容

画面名	発電量	売電量		買電量		消費量	発電量 VS 消費量	売電量 VS 買電量	売電額 VS 買電額
		売電量	売電額	買電量	買電額				
日ごと	○	○	×	○	×	○	○	○	×
月ごと	○	○	○	○	○	○	○	○	○
年ごと	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○
今まで	×	×	×	×	×	×	×	×	×

×：表示がない ○：前年実績との比較がない ◎：前年実績との比較がある

表示期間

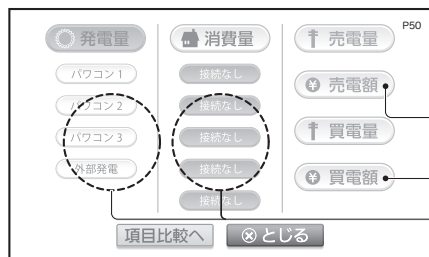
日ごと 1 時間きざみ、24 時間分（当日の 0 時台～ 23 時台分）

月ごと 1 日きざみ、1 か月分（当月の 1 日～ 31 日分）

年ごと 1 か月きざみ、12 か月分（当年の 1 月～ 12 月分）

今まで グラフなし

表示項目の切り替え



●各ボタンを選択すると、選択した内容のグラフ画面を表示します。

日ごとのグラフを表示している場合は
●売電額 ●買電額 のボタンは非表示

※発電機器や別売機器の設置状況により、
選択できる項目が増えます。
選択できるボタンが左画面より
多い場合、52 ページを参照してくだ
さい。



発電量を折れ線、
消費量を棒グラフで表示

売電量を青色、
買電量を赤色の棒グラフで表示

売電額を青色、
買電額を赤色の棒グラフで表示
(日ごとのグラフを表示している場合は
非表示)

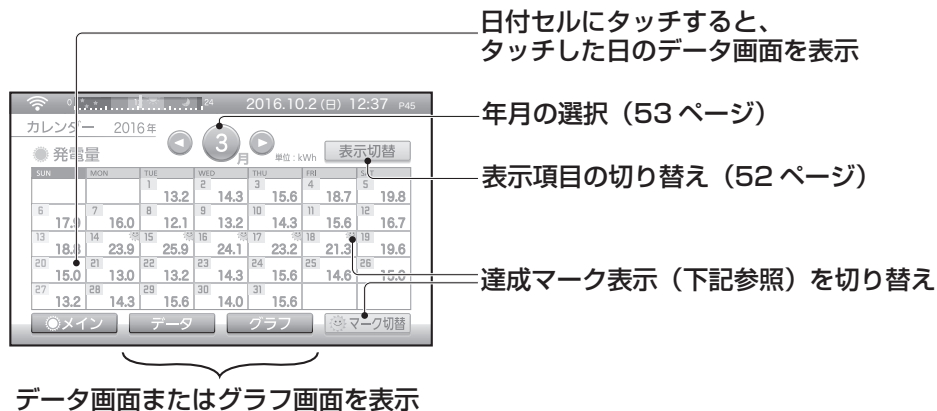
余剰対応



カレンダー画面

各値をカレンダー形式で表示します。

画面説明



達成マーク表示について

画面右下のマーク切替ボタンにタッチすることにより、発電量、消費量の達成マーク表示ができます。

- マーク切替 発電量が多かった日に太陽マーク を表示します。
- マーク切替 消費量が少なかった日に花マーク を表示します。
- マーク表示 達成マークを表示しません。

表示内容

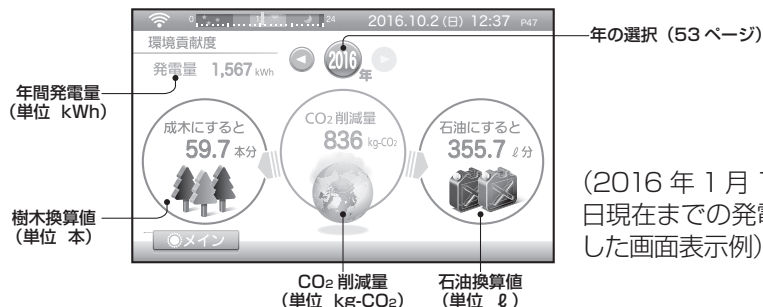
発電量、売電量、売電額、買電量、買電額、消費量

表示期間

1 か月分 (当月の 1 日～ 31 日分)

環境貢献度画面

1 年間の発電量をもとにして、CO₂ 削減量、石油換算値、樹木換算値を表示します。



(2016 年 1 月 1 日から 10 月 2 日現在までの発電量をもとに表示した画面表示例)

CO₂ 削減量 一般的な電力の CO₂ 排出係数と太陽光発電システムで発電した電力の CO₂ 排出係数から算出しています。(* 1)

国内電力会社の平均電源 CO₂ 排出量 0.579kg - CO₂/kWh
結晶系太陽光発電システムの単位発電電力あたりの CO₂ 排出量 0.0455kg - CO₂/kWh

画面例: $1,567 \times (0.579 - 0.0455) = 836\text{kg} - \text{CO}_2$

石油換算 1kWhの発電に必要な石油の量を0.227Lとして算出しています。(* 1)

画面例: $1,567 \times 0.227 = 355.7\text{L}$

樹木換算 杉(成木)の1年間のCO₂吸収量(* 2)と上記で算出したCO₂削減量を比較して表示しています。

画面例では、CO₂削減量 836kg - CO₂という値が、杉 59.7 本分の1年間のCO₂吸収量に相当することを意味します。

(計算上、杉の本数に小数点第一位を表示しています。59.7 本の場合、59 本では足りず、60 本で相当することを意味します。)

(* 1) 太陽光発電協会 表示ガイドライン(平成 28 年度)による

(* 2) 林野庁のホームページ掲載内容による

※環境貢献度画面の各値は、2017 年 1 月現在公表されている数値をもとに計算した目安です。下線部の係数は、施工設定画面の環境貢献度設定画面で設定できます。(35 ~ 36 ページ参照)

ランキング画面

年間の瞬時値(瞬間の電力)と電力量(1日の合計)のランキングを表示します。



余剰対応



個別の発電量、消費量の表示について

次の場合、個別の発電（量）と個別の消費（量）を表示できます。

- 分岐ブレーカごとの消費電力を測定している場合（オプション）
- パワーコンディショナが複数台あるか、外部発電を測定している場合

メイン画面、データ画面での表示

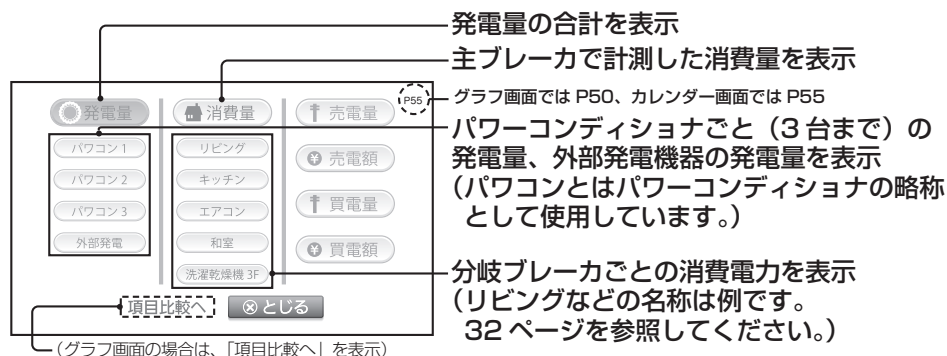
5.0 発電  ボタンをタッチすると、パワーコンディショナごと（3 台まで）の発電（量）と外部発電機器の発電（量）を表示します。

2.0 消費  ボタンをタッチすると、分岐ブレーカごとの消費電力（量）を表示します。

※  ボタンは発電、消費のそばに表示されます。画面により若干位置が異なります。
※ 機器が無い場合は電力（量）は表示されません。

グラフ画面、カレンダー画面での表示

グラフ画面とカレンダー画面で  ボタンを押すことで、選択画面を表示します。

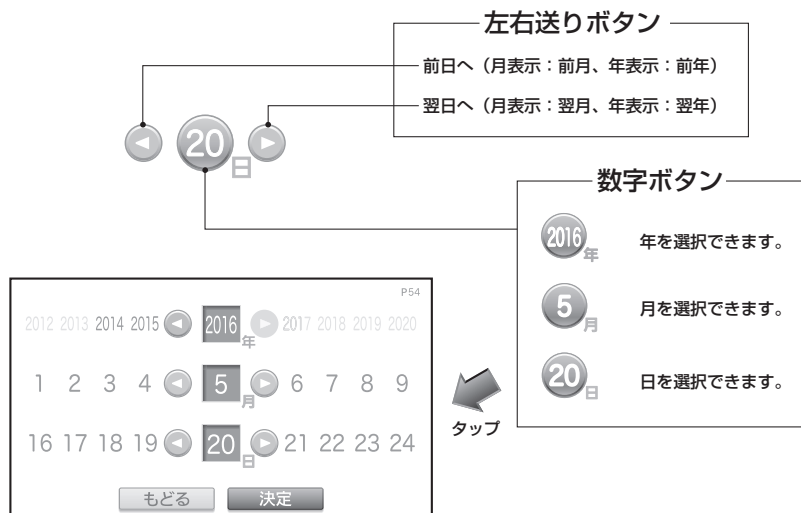


分岐ブレーカごとの名称設定は 32 ページを参照してください。

「パワコン 1 ～ 3」の表示と設置されているパワーコンディショナの関係は、メイン画面の発電値とパワーコンディショナ本体の発電値を見比べる（同じ値になる）ことでわかります。「パワコン 4 ～ 5」については発電量に合算され、個別には見ることはできません。

年、月、日の選択について

左右送りボタンで表示を変更できます。また、数字ボタンで直接年月日の指定ができます。



(2015 年と 2016 年のデータがある場合の表示例です。)

数字ボタンをタッチすると、年月日の選択画面になります。選択できない項目は表示されません。

年月日を左右送りボタンで変更し、決定ボタンをタッチしてください。



表示するデータが無い場合はボタンの色が薄くなり選択できません。
また、上図 2017 年のように、文字の色も薄くなります。

余剰対応



お知らせアイコン

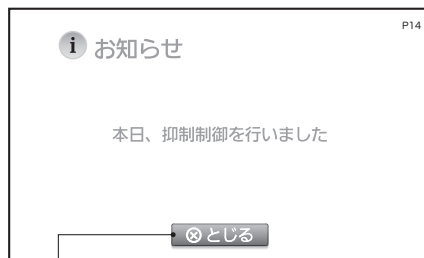
お知らせアイコンをタッチすると、各種情報を表示します。
以下の場合に、メイン画面にお知らせアイコンが表示されます。

- ・ 当日に 10 分以上の抑制があった場合
- ・ ファームウェアの更新が行われた場合
(送信ユニットの通知は、日をまたぐと消えます。)
- ・ 現在、ファームウェアの更新を行っている場合



(発電 5.0kW、売電 3.0kW、
お知らせアイコンありの表示例です。)

お知らせアイコン
タッチすると
右図を表示します。



(抑制があった場合の表示例です。)

タッチするとメイン画面に戻ります。
表示するお知らせが無い場合、お知
らせアイコンは消えています。

ご注意

「ファームウェアの更新中」と表示されている場合、モニターおよび送信ユニットの電源を OFF にしないでください。

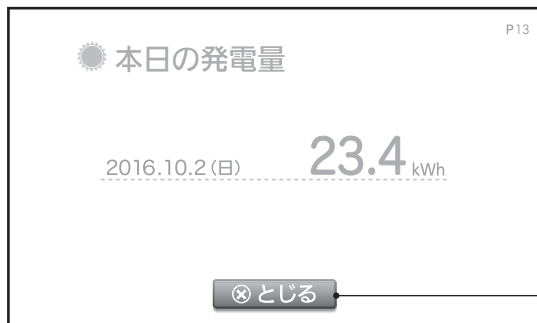
OFF にした場合、正常に機器が動作しなくなる可能性があります。

夜間モード

太陽光発電システムの発電が停止状態（日没～発電開始まで）のとき画面にタッチすると本日の発電量を表示します。

一定時間経過後は点灯条件にかかわらず画面を消灯することで、夜間は節電します。
(日中であっても、発電が少ない場合は本モードになり節電します。)

- 夜間モード中に画面消灯するとお知らせ LED も消灯します。

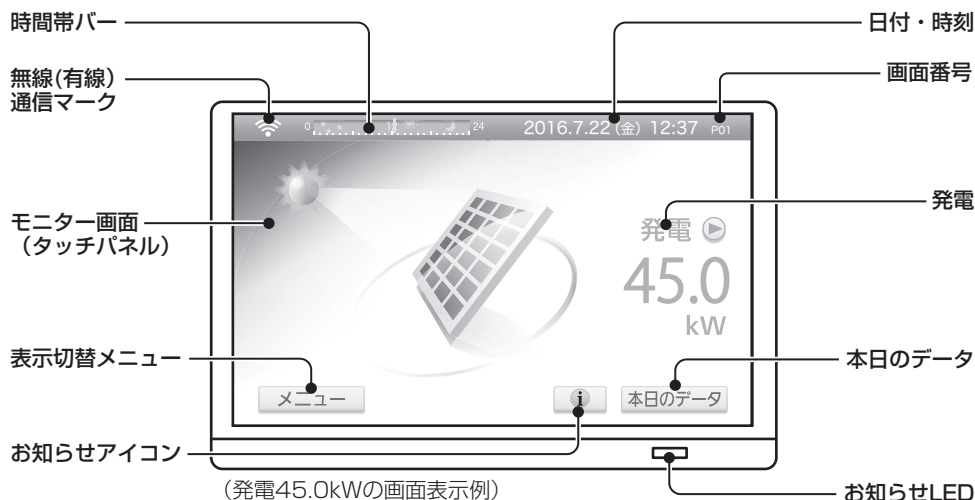


タッチするとメイン画面を
表示します。



表示機能（全量対応）

メイン画面表示部



時間帯バー

0時から24時までの時間を表示します。現在の時間を針で表示します。

無線（有線）通信マーク

通信状態を表示します。(68ページ参照)

表示切替メニュー

メニューボタンにタッチすると、メニュー画面を表示します。

日付・時刻

日付と時刻を表示します。

発電

発電電力を表示します。▶をタッチすると個別の発電電力を表示します。

本日のデータ

本日のデータにタッチすると1日の積算データを表示します。

お知らせLED

発電中（緑色）、抑制中（橙色）に色を変えて表示します。夜間モードで画面消灯中は消灯します。

お知らせアイコン

当日10分以上の抑制があった場合、およびファームウェアのアップデートなどがあった場合に、お知らせアイコンを表示します。(67ページ参照)

メイン画面の表示例

メイン画面は発電、抑制状態によって次のような表示になります。

- メイン画面の設定は 21 ページを参照してください。

アニメーションの場合

(45.0kW 発電している状態)



お知らせ LED

お知らせ LED について

- ・ 緑色点灯…… 発電中
- ・ 橙色点灯…… 起動中または抑制機能が動作中

抑制機能についてはパワーコンディショナ本体の取扱説明書を参照してください。

※ 夜間モードで画面消灯中は、お知らせ LED も消灯

※ 設定画面では消灯

本日のデータ ボタンをタッチすると 1 日の積算データを表示します。(58 ページを参照してください。)

フォトの場合

アニメーションのかわりに写真を設定する事もできます。

(21 ~ 23 ページを参照してください。)

全量対応



メイン画面からの画面遷移図

電源 ON

電源 ON：AC アダプターをコンセントに挿入してください。
電源が入ると起動ロゴを表示したのち、メイン画面を表示します。

メイン画面

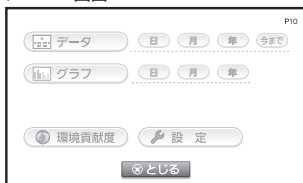
(アニメーション設定で、発電 45.0kW の画面表示例)



※通信設定が完了していない場合はネットワーク設定の画面を表示します。

メニュー

メニュー画面



メイン画面のボタンについて

メイン画面



発電 (個別) ポップアップ
(65 ページ参照)

発電

本日のデータ

「本日のデータ」
ボタンタッチですぐに今日の積算データを表示します。

直接移動も可能

直接移動も可能

データ画面 1 日



月ごとへ

グラフ画面 1 日



月ごとへ

① 環境貢献度

発電量をもとにした 1 年間の環境貢献度を表示します。(64 ページ参照)

② 設定

各種設定 (17 ページ参照)

データ画面 今まで



データ画面 1ヶ月



データ画面 1年



グラフ画面 1ヶ月



グラフ画面 1年



グラフ 1日

ご注意

- 画面右上の **P01** **P02** ... **N01** ... は、画面番号を示しています。お問い合わせなどの場合、例えば **P03** の画面というようにお知らせください。

どの画面からでも **メイン** にタッチするとメイン画面に戻ります。

全量対応



メニューからの画面表示

メイン画面から **メニュー** にタッチすると、メニュー画面を表示します。

メイン画面

(アニメーション設定の画面表示例)



メニュー画面



データ にタッチすると

今まで・年・月・日ごとのデータ画面を表示します。(61 ページを参照してください。)

日 **月** **年** **今まで** をタッチすると直接その画面に移動します。

グラフ にタッチすると

年・月・日ごとのグラフ画面を表示します。(62～63 ページを参照してください。)

日 **月** **年** をタッチすると直接その画面に移動します。

環境貢献度 にタッチすると

1 年間の発電量をもとにして、CO₂ 削減量、石油換算値、樹木換算値を表示します。(64 ページを参照してください。)

設定 にタッチすると

設定の画面を表示します。(18 ページを参照してください。)

⊗ とじる にタッチすると

メイン画面に戻ります。

データ画面

各値を数値データで表示します。

画面説明

(この画面は 2016 年 7 月 22 日の 00:00 ~ 12:37 までの積算データ例です。)



年月日の選択 (66 ページ)

売電額は発電量をもとにして算出した目安ですので、実際の金額とは異なります。

表示期間の切り替え
(日ごと、月ごと、年ごと、今まで)

グラフ画面を表示



発電量

▶をタッチすると、個別の発電量を表示できます。
詳細は 65 ページを参照してください。

表示内容

画面名	発電量	売電額
日ごと	○	○
月ごと	○	○
年ごと	○	×
今まで	○	×

×：表示がない ○：表示がある

表示期間

日ごと 24 時間分 (当日の 0 時 ~ 23 時 59 分)

月ごと 1 か月分 (当月の 1 日 ~ 31 日分)

年ごと 12 か月分 (当年の 1 月 ~ 12 月分)

今まで モニター (送信ユニット) を設置してから現在までの値

全量対応



グラフ画面

各値をグラフで表示します。一部の値については比較表示もできます。

画面説明



年月日の選択 (66 ページ)

表示項目の切り替え (63 ページ)

表示期間の切り替え
(日ごと、月ごと、年ごと)

データ画面を表示



年ごとの表示では、前年実績と
比較表示可能

 前年と比較 にタッチすると前年実績を薄い色で重ねて表示（画面番号は P37）

 本年のみ にタッチすると本年のデータの
みを表示（画面番号は P34）

データ画面を表示

※ 2016 年と 2015 年の発電量を表示しています。前年の発電量は薄い色で表示されます。

表示内容

画面名	発電量	売電額
日ごと	○	×
月ごと	○	○
年ごと	◎	◎
今まで	×	×

×：表示がない ○：前年実績との比較がない ◎：前年実績との比較がある

表示期間

日ごと 1 時間きざみ、24 時間分（当日の 0 時台～ 23 時台分）

月ごと 1 日きざみ、1 か月分（当月の 1 日～ 31 日分）

年ごと 1 か月きざみ、12 か月分（当年の 1 月～ 12 月分）

今まで グラフなし

表示項目の切り替え



- 各ボタンをタッチすると、パワーコンディショナごとの発電量を表示します。（パワコンとはパワーコンディショナの略称として使用しています。）
- 接続していないパワコン番号はグレーになり、タッチできません。

パワコン番号と設置されているパワーコンディショナの関係は、メイン画面の発電値とパワーコンディショナ本体の発電値を見比べる（同じ値になる）ことでわかります。

※ パワーコンディショナにより最大 10 台対応していない場合があります。

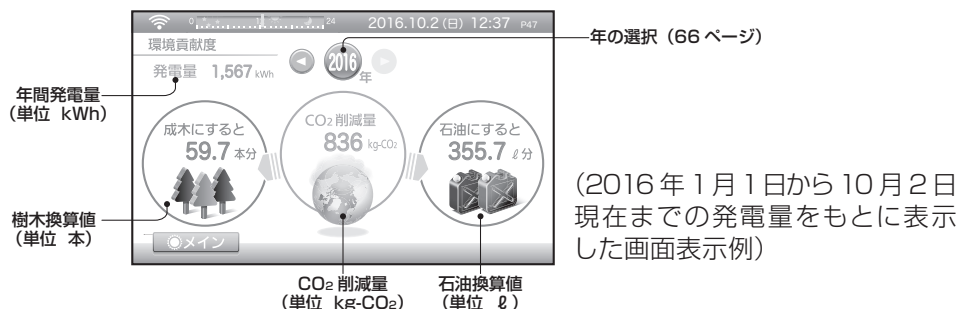
なお、工場出荷時は最大 5 台の設定です。

（送信ユニットでの設定が必要です。）



環境貢献度画面

1 年間の発電量をもとにして、CO₂ 削減量、石油換算値、樹木換算値を表示します。



CO₂ 削減量 一般的な電力の CO₂ 排出係数と太陽光発電システムで発電した電力の CO₂ 排出係数から算出しています。(* 1)

国内電力会社の平均電源 CO₂ 排出量 0.579kg - CO₂/kWh

結晶系太陽光発電システムの単位発電電力あたりの CO₂ 排出量

0.0455kg - CO₂/kWh

画面例: $1,567 \times (0.579 - 0.0455) = 836\text{kg} - \text{CO}_2$

石油換算 1kWhの発電に必要な石油の量を0.227Lとして算出しています。(* 1)

画面例: $1,567 \times 0.227 = 355.7\text{L}$

樹木換算 杉(成木)の1年間のCO₂吸収量(* 2)と上記で算出したCO₂削減量を比較して表示しています。

画面例では、CO₂削減量 836kg - CO₂という値が、杉 59.7 本分の 1 年間の CO₂ 吸収量に相当することを意味します。

(計算上、杉の本数に小数点第一位を表示しています。59.7 本の場合、59 本では足りず、60 本で相当することを意味します。)

(* 1) 太陽光発電協会 表示ガイドライン(平成 28 年度)による

(* 2) 林野庁のホームページ掲載内容による

※環境貢献度画面の各値は、2017 年 1 月現在公表されている数値をもとに計算した目安です。下線部の係数は、施工設定画面の環境貢献度設定画面で設定できます。

(35 ~ 36 ページ参照)

個別の発電量の表示について

次の場合、個別の発電（量）を表示できます。

- パワーコンディショナが複数台ある場合

メイン画面、データ画面での表示

5.0 kW 発電

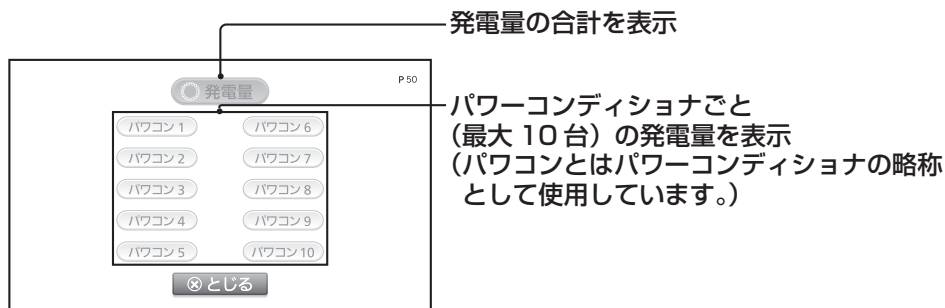
▶ ボタンをタッチすると、パワーコンディショナごと（最大 10 台）の発電（量）を表示します。

※▶ ボタンは発電のそばに表示されます。画面により若干位置が異なります。

※機器が無い場合は電力（量）は表示されません。

グラフ画面での表示

グラフ画面で **表示切替** ボタンを押すことで、選択画面を表示します。



パワコン番号と設置されているパワーコンディショナの関係は、メイン画面の発電値とパワーコンディショナ本体の発電値を見比べる（同じ値になる）ことでわかります。

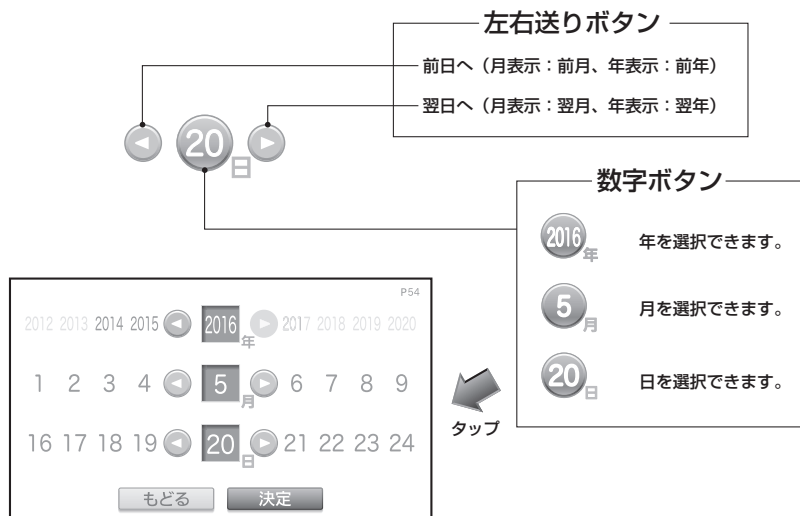
※パワーコンディショナにより最大 10 台対応していない場合があります。
なお、工場出荷時は最大 5 台の設定です。

全量対応



年、月、日の選択について

左右送りボタンで表示を変更できます。また、数字ボタンで直接年月日の指定ができます。



(2015 年と 2016 年のデータがある場合の表示例です。)

数字ボタンをタッチすると、年月日の選択画面になります。選択できない項目は表示されません。

年月日を左右送りボタンで変更し、決定ボタンをタッチしてください。



表示するデータが無い場合はボタンの色が薄くなり選択できません。
また、上図 2017 年のように、文字の色も薄くなります。

お知らせアイコン

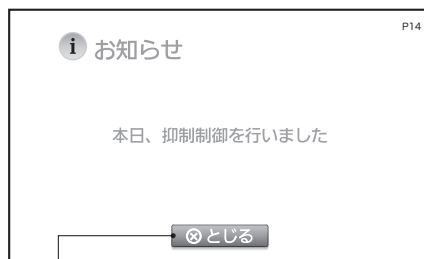
お知らせアイコンをタッチすると、各種情報を表示します。
以下の場合に、メイン画面にお知らせアイコンが表示されます。

- ・ 当日に 10 分以上の抑制があった場合
- ・ ファームウェアの更新が行われた場合
(送信ユニットの通知は、日をまたぐと消えます。)
- ・ 現在、ファームウェアの更新を行っている場合



(発電 45.0kW
お知らせアイコンありの表示例です。)

お知らせアイコン
タッチすると
右図を表示します。



(抑制があった場合の表示例です。)

タッチするとメイン画面に戻ります。
表示するお知らせが無い場合、お知
らせアイコンは消えています。

ご注意

「ファームウェアの更新中」と表示されている場合、モニターおよび送信ユニットの電源を OFF にしないでください。
OFF にした場合、正常に機器が動作しなくなる可能性があります。

夜間モード

太陽光発電システムの発電が停止状態（日没～発電開始まで）のとき画面にタッチすると本日の発電量を表示します。

一定時間経過後は点灯条件にかかわらず画面を消灯することで、夜間は節電します。
(日中であっても、発電が少ない場合は本モードになり節電します。)

- 夜間モード中に画面消灯するとお知らせ LED も消灯します。



タッチするとメイン画面を
表示します。

全量対応



受信状態の確認

設定した通信方式により、画面左上のマークが無線通信マークと有線通信マークに変わります。



無線通信マーク表示

ルーターとの通信状態を無線通信マークで確認できます。

表示	受信状態
	強い（推奨）
	中程度
	弱い
圏外	データ受信できず

※モニターは送信ユニットからのデータをもとに数値やグラフ表示、時計表示を行います。受信状態が悪い場所では、表示の切り替えが遅くなったり表示できないことがあります。送信ユニットで電力量などを保存しているため、受信状態が悪い期間があっても電力量などに問題はありません。

受信状態が悪い場合は、モニターを受信状態の良い場所へ移動させてください。

有線通信マーク表示

送信ユニットまたはルーターとの通信状態を有線通信マークで確認できます。

表示	通信状態
	有線通信中
	有線通信不可

設置環境により無線通信が利用できない場合は、有線通信でご利用ください。有線通信と無線通信の切り替えは、送信ユニットの取扱説明書をご確認いただくか、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

無線通信のネットワーク設定を過去に行っている場合、有線通信が途切れると自動的に無線通信を行います。無線通信でも受信できない場合は、「圏外」表示となります。

こんなときは

これらは異常ではありません

症状	対処方法	対象
電力会社から送付される電気料金とモニターの電気料金が異なる	- 各電力量および換算金額などの数値は目安ですので、電力メーターの値や電力会社からの請求書の値と数値が異なる場合があります。大きく異なる場合は、「電気料金」設定が実際の電気料金単価とあっているかを確認してください。 - 電力会社の伝票の検針日を確認してください。モニターの月ごとの表示は1日から月末（または本日）までの金額を表示しています。 【全量のみ】売電額の数値は、パワーコンディショナの発電量を換算した目安です。（売電電力量の換算値ではありません。）	共通
メイン画面の消費（売電、買電）の数値がふらつく	メイン画面の消費（売電、買電）の数値がふらつく場合があります。温水洗浄機能付きトイレ便座、電気ポット、冷蔵庫などの消費電力が大きく変動する製品をお使いの場合はモニターに表示される数値がふらつきます。	余剰
メイン画面に表示される数値の反応が遅い	通信が途切れた場合、最後に表示した数値が約3分間表示されます。通信が正常に戻ると復帰します。	共通
メイン画面背景が設定した写真と別の写真になる	表示可能な画像データの入っているSDメモリーカードが挿入されているか確認してください。	
夜間に表示をしない	- 夜間などにより発電していないときは、画面にタッチする事により本日の発電量を表示します。 20時以降は、消灯を優先する動作となります。	



AC アダプターが熱い	動作中は温度が上昇します。 ただし、手で触れられないほどの場合はコンセントから抜いてください。 その後、販売店へお問い合わせください。	共通
液晶の赤、青、緑などの輝点が点灯したままになったり、小さな黒点が見える	液晶特有の性質で故障ではなく一部の点が点灯したままになる事があります。 また一部表示が薄くなる事もあります。	
日付・時刻がずれる	送信ユニット側で日付・時刻データを保存しています。受信状態をご確認ください。	
日付・時刻がバー表示になっている	送信ユニットと接続できていますか？ 日付・時刻は送信ユニットと同期して表示していますので送信ユニットと接続されている必要があります。 送信ユニットと接続していても表示される場合は、日付・時刻が設定されていませんので設定してください。	
各月の電力量の合計が年間の値と異なる (その他期間も同様)	表示は四捨五入しているため、一致しないことがあります。 また、「日付・時刻未設定」の状態があった場合、その期間の電力量は毎月 / 各年などでは表示せず、「今まで」の値にのみ加算されます。	
発電結果出力で、SD メモリーカードにデータを書き出せない	専用フォーマッターでフォーマットしてから SD メモリーカードをご使用ください。 (15 ページ参照)	
数値の表示が遅い、タッチしたあと画面の切り替わりが遅い	受信状態をご確認ください。 受信状態が悪い場合は、受信状態の良い場所へモニターを移動させてください。 また、本機で使用している通信と他の機器の通信が干渉している可能性があります。 この場合、通信は可能ですが表示に遅れが発生します。	
タッチしたときの反応がおかしい(位置がずれている)	キャリブレーションを行ってください。詳しくは 31 ページの「キャリブレーションをする」をご確認ください。	

これらは異常ではありません（つづき）		
症状	対処方法	対象
タッチしたとき反応しないことがある タッチした位置がずれることがある	2点以上の同時タッチには対応しておりません。指と爪で同時にタッチしたり、指1本であっても広い範囲を抑えたりしていないかご確認ください。操作しにくい場合は、市販のタッチパネル用ペン（先端が柔らかい素材のもの）をご利用ください。	共通
表示が自動的に消えない	液晶設定で発電中は点灯する設定にしている場合に、外部発電機器が動作していると表示は夜間であっても点灯します。 また、送信ユニットを接続していない場合も夜間モードにならないため消えません。表示を消したい場合は、液晶設定を「操作中のみ点灯」に設定してください。 なお、1～2日に1度、モニターは夜間に再起動します。その際、一時的に液晶が点灯しますが、異常ではありません。	
瞬間発電ランキング、瞬間消費ランキングが消えた	日付・時刻設定で、過去への変更をすると現在時刻から変更後の時刻までの瞬間発電／消費ランキングは消えてしまいます。 日付・時刻を元の時刻に設定し直しても瞬間発電／消費ランキングは戻りません。	余剰
各ランキング（一日の発電量、一日の消費量、一日の売電量）が消えた	日付・時刻設定で、過去への変更をすると変更前の日付から変更後の日付までのランキングは消えてしまいます。 日付・時刻を元の日付に設定し直すと再度ランキングを検索し、表示します。	

確認してください		
モニター画面が表示されない	ACアダプターはコンセントにしっかりと差し込まれていますか？ アダプターのモニター側接続部はしっかりと差し込まれていますか？ パワーコンディショナは動作していますか？	共通
時刻の自動補正が行われない	送信ユニットがルーターを通してインターネットに接続できる必要があります。 送信ユニットのネットワーク設定を確認してください。	



受信しているのに表示がおかしい	AC アダプターを一度抜いてから再度差し込み、表示をご確認ください。	
・ 受信ができない ・ 表示がおかしい ・ メイン画面に表示される数値が全て 0.0kW になる（または、数値が表示されない）	無線（有線）通信マークを参考に、受信状態の良い場所へモニターを移動させてください。（68 ページ参照） 無線（有線）通信マークに問題が無い場合、送信ユニットの通信を確認してください。また、ルーターなどをご利用の場合、ルーターなど（モデム、ONU、CTU）の電源を確認して送信ユニットとの接続を確認してください。 詳しくは送信ユニットの取扱説明書のネットワークの設定の項目をご覧ください。ルーターの使用法や設定については、ルーターの説明書などをご確認ください。	共通
「システム容量と節電目標」、「電気料金」、「個別消費電力量」、「発電結果出力」、「環境貢献度設定」、「通信接続機器」のボタンがタッチできない	送信ユニットと通信ができていません。メイン画面にして、しばらくお待ちください。それでも接続できない場合は、通信設定を確認してください。	余剰
「電気料金」、「発電結果出力」、「環境貢献度設定」、「通信接続機器」のボタンがタッチできない	送信ユニットと通信ができていません。メイン画面にして、しばらくお待ちください。それでも接続できない場合は、通信設定を確認してください。	全量
発電結果出力の結果が正常に出力されない	モニターで発電結果出力をしている最中に SD メモリーカードを抜いたり、電源をオフしたりするとデータが正常に書き出せない場合があります。 データが正常でない場合は、SD メモリーカードをフォーマットしてから再度ご確認ください。（15 ページ参照） 1 時間または 30 分ごとの電力データを四捨五入して SD メモリーカードに書き出しています。そのため、表計算ソフト上で足し合わせた値とモニターの表示値は一致しないことがあります。正確な各値はモニターの表示値でご確認ください。	共通
余剰用の表示にならない、全量用の表示にならない	送信ユニット本体のスイッチ操作で余剰 / 全量を設定できます。	余剰
設定が変更されない、一部画面のみ表示されない	モニターと送信ユニットがお互いに対応している必要があります。各機器の取扱説明書をご覧ください。	共通

メイン画面に数値が表示されない場合

モニターと送信ユニットの通信ができていません。

モニターは送信ユニットとの通信がなんらかの理由により途切れた場合でも、前回接続していた方法で送信ユニットの再検索を行います。

無線通信は周囲の環境により一時的に通信が不可能になることがあります。この場合は、モニターの電源を ON 後、メイン画面のまま操作せず、そのまま数分お待ちください。もし頻繁に発生する場合は、モニターの置き場所の変更や、有線接続に変更する、などをご検討ください。

また、送信ユニットの取扱説明書の「こんなときは」を参照してください。

お手入れのしかた

■ お手入れの際は、必ず AC アダプターを抜いてください。

お手入れの際は、やわらかい布で拭き取ってください。中性洗剤を使用する場合は、洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってから拭き取ってください。モニター本体に直接洗剤などを使用しないでください。



仕様

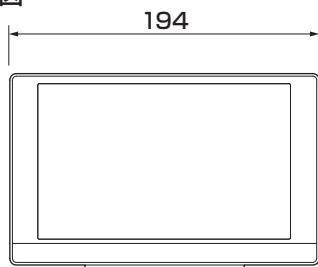
品名	カラーモニター	
品番	SPCM274-NX	
画面	7インチワイドVGA、カラー TFT液晶タッチパネル	
データ通信方法	有線通信 (100BASE-TX, 10BASE-T)	
	無線通信 IEEE802.11b.g (2.4 GHz) 準拠	
設置方法	台座方式／壁固定方式 (屋内設置)	
余剰	電力表示 (数値)	発電、消費、売電、買電、個別消費、個別発電
	電力量表示 (数値、グラフ)	発電量、消費量、売電量、買電量、個別消費量、個別発電量
全量	電力表示 (数値)	発電、個別発電
	電力量表示 (数値、グラフ)	発電量、個別発電量
環境モニター	発電量、CO ₂ 削減量 (石油換算、樹木換算)	
その他機能	オンラインアップデート機能、SDメモリーカード出力	
電源電圧	ACアダプター 入力: AC100 V 50/60 Hz 出力: DC5 V 2 A	
定格入力電圧	DC5 V	
消費電力	7 W (動作時最大)、3 W (待機時)	
使用温度範囲	0℃～+40℃	
使用湿度範囲	90 %以下 (ただし、結露・凍結なきこと)	
質量	0.5 kg (台座除く)	

本機、送信ユニット (SPW274R-NX、SPW274RT-NX) は計量法の対象製品ではありません。発電量、消費量、売電量、買電量、および換算金額などの数値は目安ですので、電力メーターの値や電力会社からの請求書の値と数値が異なる場合があります。

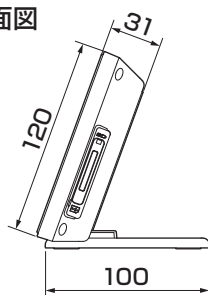
●各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

外形寸法

正面図



側面図



単位 (mm)

保証とアフターサービス

保証について

- 保証に関する内容につきましては、お買い上げの販売店または施工店へご確認ください。

修理を依頼される前に

- 修理を依頼される前に、本書の「こんなときは」69～73ページに従ってご確認ください。

修理を依頼されるときに

- カラーモニターに異常を確認した場合は速やかに運転を停止し、お買い上げの販売店または施工店へご連絡ください。

ご連絡の際は次の項目をお知らせください。

- ・ お客様名
- ・ ご住所
- ・ ご連絡先
- ・ カラーモニター型式・製造番号
- ・ 設置時期
- ・ 不具合の状況
- ・ お買い上げの販売店または施工店

お客様名	
ご住所（設置場所）	
ご連絡先	TEL（ ） —
カラーモニター 型式・製造番号	型式： 製造番号：
設置時期	年 月 日
不具合の状況	
お買い上げの販売店または施工店	

- 太陽光発電システムは、関係法令（廃棄物処理法、建設リサイクル法など）に従って産業廃棄物として適切に廃棄してください。
詳しくは、平成28年4月1日に環境省より公布された「太陽光発電設備のリサイクル等推進に向けたガイドライン（第一版）」を参照ください。

ネクストエナジー・アンド・リソース 株式会社

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂11465-6

お問い合わせ先：インフォメーションセンター フリーダイヤル：0120-338647

E-mail: info@nextenergy.jp

URL: <http://www.nextenergy.jp>